許可 8022 号
本文

官報 第八千二十二號
明治四十三年三月二十四日 木曜日
印刷局

○閣令

閣令第二號

勳章年金支給細則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第二條中「竝年金支給主管ノ地方廳ヲ大藏省ニ通牒シ同省ハ之ヲ該地方廳ヲ」ヲ「郵便貯金局ニ改ム

第四條中「大藏省ヨリ地方廳ヲ經テ」ヲ削ル

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

年金支給ニ關スル手續ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第六條乃至第八條　削除

第九條　年金受領者カ死亡、離籍若クハ婚姻シ又ハ成年ニ達シタル爲年金受領ノ資格ヲ失セタルトキハ遺族、親戚又ハ本人ヨリ最寄郵便局ヲ經テ郵便貯金局ニ屆出ヘシ

郵便局ニ於テ最終期ノ年金支給ノトキハ其ノ證書ヲ收メ郵便貯金局ヲ經テ之ヲ賞勳局ニ還納スヘシ

金鵄勳章年金令ニ依リ年金ヲ繼受スヘキ遺族アルトキハ其ノ賜期滿限ノ後還納スルモノトス

第十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

年金ヲ繼受セントスル遺族ハ受領者最終期ノ年金支給濟ノ後署名捺印シタル願書（孤兒ハ親權者又ハ後見人ヨリ願出テ、）ニ市區町村長（市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ之ニ準スヘキ者以下之ニ倣フ）ノ證印ヲ受ケ戸籍謄本及年金證書ヲ添附シ住所地ノ地方廳ニ差出スヘシ

第十五條中「年金支給主管ノ」ヲ「住所地ニ」ニ「大藏省ヨリ」ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第十七條中「大藏省」ヲ「郵便貯金局」ニ「支給主管ノ地方廳ヲ」ヲ「支給郵便局」ニ改ム

第十七條ノ二中「當該支給期月ニ之ヲ支給ス」ヲ「解除後ノ支給期月ニ之ヲ支給シ其ノ廢止セラレタルトキハ廢止以前ノ年金ハ支給期月ニ拘ラス之ヲ支給ス」ニ改メ「但書」ノ下ニ「及同第五條但書」ヲ加フ

第十八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ニ於テ年金受領者行方不明中年金ノ支給ヲ停止セラルヘキ所爲アリト認定スルトキハ其ノ旨ヲ賞勳局ニ申牒シ且年金ノ支給ヲ猶豫セシムル爲郵便貯金局ヘ通知スヘシ

第二十條中「支給主管ノ地方廳ヲ」「支給郵便局ヲ經テ郵便貯金局」ニ、「地方長官ヲ」「郵便貯金局」ニ、「該地方廳ヲ經テ本人ニ下付シ其ノ旨ヲ大藏省ニ通知スヘシ」ヲ「郵便貯金局ヲ經由シ年金支給郵便局ヲシテ之ヲ本人ニ下付セシムル」ニ、「地方廳ヲ」「年金支給郵便局」ニ改ム

第二十一條　年金受領者氏名ヲ改メタルトキハ其ノ屆書ニ年金證書及戸籍謄本ヲ添ヘ年金支給郵便局ヲ經テ郵便貯金局ニ差出スヘシ

郵便貯金局長ハ年金證書ノ裏面ニ其ノ事由ヲ記載シ署名捺印ノ上年金支給郵便局ヲ經テ本人ニ下付シ其ノ旨ヲ賞勳局ニ通知スヘシ

附錄中親族ノ遞署ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第三號

官吏恩給法施行規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第三條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　戸籍謄本

第六條中「大藏省」ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第七條中「大藏省ヨリ本人居住ノ地方廳ヲ經テ」ヲ削ル

第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

恩給支給ニ關スル手續ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第八條及第九條　削除

第十三條及第十四條中「本人恩給ノ支給ヲ受クル地方廳ヲ」「郵便貯金局」ニ改ム

第十五條中「地方廳」ヲ「最寄郵便局ヲ經テ郵便貯金局」ニ改ム

第十六條中「地方廳」ヲ「郵便貯金局」ニ改メ「大藏省ニ通知シ大藏省ハ之ヲ」ヲ削ル

第十七條中「居住地ノ地方廳」ヲ「恩給支給郵便局ヲ經テ郵便貯金局」ニ、「地方廳ニ於テ」ヲ「郵便貯金局ニ於テ」ニ、「地方廳ヲ經テ」ヲ「郵便貯金局及恩給支給郵便局ヲ經テ」ニ改ム

第十八條　恩給ヲ受クル者改氏名シタルトキハ其ノ屆書ニ恩給證書及戸籍謄本ヲ添ヘ恩給支給郵便局ヲ經テ郵便貯金局ニ屆出ヘシ郵便貯金局ハ恩給證

書ノ裏面ニ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上恩給支給郵便局ヲ經テ本人ニ下付スルヲ以テ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第十九條中「又ハ居住地ヲ轄ス」ヲ削ル

第二十一條　削除

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第四號

官庭遠藤扶助法施行規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第八條中「大藏省ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第二章及第九條削除

第十條中「第八條第九條ヲ削ル

第十一條中「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十二條中「第十三條ノ下ニ「及第十五條ヲ加フ

第十三條中「大藏省又ハ地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ改メ「第十一條又ハ」ヲ削ル

第十五條中「又ハ居住地ヲ轄ス」ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第五號

軍人恩給法施行規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第二條中「第一ノ下ニ「又ハ第二ヲ加フ

第三條第二項第二號中「第一ノ下ニ「又ハ第二ヲ加ヘ第六號中若クハ第四ヲ削ル

第四條中「海軍中央衛生會議ヲ「海軍省醫務局」ニ改メ「又ハ親族及兄弟姉妹ヲ削ル

第五條中「大藏省ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第七條中「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ改メ「大藏省ニ通知スヘシ」ヲ「大藏省ハ之ヲ」ニ改ム

第九條中「又ハ居住地ヲ轉ス」ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第六號

明治二十四年法律第四號施行規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第九條及第十條中「大藏省ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第十二條中「居住地ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十三條中「居住地ヲ「郵便貯金局」ニ「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十四條中「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十五條　削除

第十八條中「及第十一條ヲ「第八條第九條ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第七號

内閣恩給局長ノ管掌ニ屬スル巡査看守退隱料及遺族扶助料取扱規程中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第十三條中「妄給」ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

退隱料及扶助料ノ妄給ニ關スル手續ハ憑信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第十五條及第十六條中「妄給」ヲ「郵便貯金局」ニ改ム

第十七條中「妄給」ヲ「郵便貯金局」ニ改メ「及妄給主管省ヲ削ル

第十八條中「之ヲ妄給」ヲ「最寄郵便局ヲ經テ之ヲ郵便貯金局」ニ改ム

第十九條中「妄給」ヲ「郵便貯金局」ニ改メ「妄給主管省及及但書ヲ削ル

第二十條中「住所地ノ地方廳ヲ「退隱料又ハ扶助料ノ妄給ヲ爲スヘキ郵便局ヲ「經テ郵便貯金局」ニ「地方廳ニ於テ」ヲ「郵便貯金局ニ於テ」ニ「地方廳ヲ「經テ」ヲ「郵便貯金局及妄給」ニ改ム

第二十一條　退隱料郵便又ハ扶助料ヲ受クル者氏名ヲ改メ「其ノ屆書ニ戸籍謄本及第十二條ノ證書ヲ添ヘ妄給郵便局ヲ經テ郵便貯金局ニ屆出ヘシ」ヲ削ル

郵便貯金局ハ證書ノ裏面ニ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第二十二條中第十四條ヲ除ク」ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第八號

產婆奬勵規程中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

第五條　馬匹改良上功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第六條　馬匹改良上功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第七條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第八條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第九條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第十條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第十一條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第十二條中「居住地ノ地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十四條中「地方廳ヲ「郵便貯金局」ニ「大藏省ヲ「内閣恩給局」ニ改ム

第十五條　削除

第十八條中「及第十一條ヲ「第八條第九條ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

閣令第九號

恩給令第十四條ノ二第二項ノ規定ニ依リ左ノ通定ム

明治四十三年三月二十四日　内閣總理大臣　侯爵桂太郎

恩給令第十四條ノ二第二項ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受クル者ニ對シ其ノ受クル扶助料ノ全額ヲ支給スル場合ハ左ノ通トス

一　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

二　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

三　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

四　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クルトキ

五　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クルトキ

六　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

七　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支給シタル扶助料ハ之ヲ返還セシメス

閣令第十號

恩給令第十四條ノ二第二項ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受クル者ニ對シ其ノ受クル扶助料ノ全額ヲ支給スル場合ハ左ノ通トス

一　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

二　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

三　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

四　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クルトキ

五　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

六　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

七　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支給シタル扶助料ハ之ヲ返還セシメス

閣令第十一號

恩給令第十四條ノ二第二項ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受クル者ニ對シ其ノ受クル扶助料ノ全額ヲ支給スル場合ハ左ノ通トス

一　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

二　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

三　扶助料ノ原因タル死亡ノ事實ニ關シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

四　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クルトキ

五　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クルトキ

六　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

七　同一ノ傷病ニ付キ二回以上扶助料ヲ受クル者ニ於テ其ノ傷病ニ付キ最初ノ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ傷病ニ付キ更ニ扶助料ヲ受クル後ニ於テ其ノ裁定ヲ變更シ公務上ノ負傷又ハ疾病ニ因リ死亡シタル旨ノ裁定アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支給シタル扶助料ハ之ヲ返還セシメス

第七條　馬匹改良ニ關シ功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルヲ得功勞賞ハ賞牌ト賞金トヲ以テ授與スルモノトス

地方長官ニ於テ功勞賞ヲ授與スルニ適當ナリト認ムル者アルトキハ其ノ事實ヲ記載シ局長名ヲ署印ノ上本人ニ下付シ其ノ旨ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ

第二條第一項中「第三號ヲ「第四號ニ改ム

第九條中「明治四十二年度ヲ「明治四十二年四月ヨリ明治四十三年度ニ」ヲ「明治四十三年四月十日ヨリ改ム

繼式第三ノ通加フ

部市別	倉敷開閉品數	同上出入員	同上繫留段別	附屬物品	艀舟數

備考

一　竣工後金額ヲ增加シタル場合ニ於テハ第一項第三號ニ依リ變更手續ヲ爲スヘキモノトス

二　品評會以外ノ繫留改良ニ關シ繫留ヲ廢止シ又ハ繫留ヲ新設シタル場合ニ於テハ第三號式ニ準シ報告スヘシ

○訓令

農商務省訓令第一號

警視廳　北海道廳

庁府縣（各廳ノ長）

本月十一日東京市ニ於テ神奈川縣橫濱市ニ於ケル牛疫豫防注射ノ際牛疫ニ罹リ死亡シタル牛ニ對シ別紙ノ通手當金ヲ交付スルヲ以テ此際一層豫防ノ施設ヲ嚴ニシ牛疫ノ撲滅ヲ期セラルヘシ

追テ本訓令ニ關スル費用ハ明治四十三年度豫算ノ範圍内ニ於テ支出スヘシ

明治四十三年三月二十四日　農商務大臣　男爵大浦兼武

○告示

鐵道院告示第十六號

明治四十三年四月一日ヨリ東京市八王子間横濱鐵道會社鐵ヲ借受ケ運輸營業ヲ爲スヘシ

唱歌貨物運賃客車運賃ハ横濱鐵道會社ト所定ノ通

明治四十三年三月二十四日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

内務省告示第五十號

郡市ノ區域ニ依ヲサル警察署ノ警察署轄區域中神奈川縣橘樹郡町警察署及山手本町警察署轄區域ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月二十四日　内務大臣　法學博士男爵平田東助

壽町警察署轄區域ノ内中村町（小字中村町及小字十二ヲ除ク）ヲ中村町ニ改メ同町ノ内字山手ノ内ニ地ヲ追加ス

○省令

内務省令第五號

警察官吏其他内閣派遣ノ者ニ關スル件中「警部」ヲ「警部補」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十三年勅令第十一號明治四十三年勅令第十二號及明治四十三年勅令第十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月二十四日

内務大臣　法學博士男爵平田東助

内務省令第六號

警察官吏規則施行細則中「警部巡査」ヲ「警部補巡査」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十三年勅令第十一號明治四十三年勅令第十二號及明治四十三年勅令第十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月二十四日

内務大臣　法學博士男爵平田東助

内務省令第七號

千島國擇捉島ニ在勤スル北海道廳支廳長以下警察官吏ノ巡査ヲ「警部補」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十三年勅令第十二號明治四十三年勅令第十三號及明治四十三年勅令第十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月二十四日

内務大臣　法學博士男爵平田東助

○農商務省令第二號

明治四十二年農商務省令第四號繁殖蕃殖奬勵規程中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十四日　農商務大臣　男爵大浦兼武

第二條第一項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ以下一號ヲ繰下ク

二　國品評會其ノ他繁殖改良ニ關シ奬勵金ヲ交付スルトキ

第二條第一項第三號中「前二號ヲ「前各號ニ改ム

第8022号　本文

第8022号　本文

山手本町警察署管轄區域欄內「山手町」ヲ「山手町（二百二番地ヲ除ク）」ニ「中村町ノ內小字酒場」ヲ「中村町ノ內九、十、十二、十三番地及小字酒場」ニ改ム

文部省告示第九十五號

京都府葛野郡朱雀野村ニ設置セル京都市立商業學校ノ名稱ヲ京都市立第一商業學校ト變更ノ件認可セリ

明治四十三年三月二十四日　文部大臣　小松原英太郎

文部省告示第九十六號

京都府京都市上京區五辻通淨福寺西入ニ商業學校規程甲種程度ニ依リ京都市立第二商業學校ヲ設置シ明治四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十三年三月二十四日　文部大臣　小松原英太郎

文部省告示第九十七號

私立北陸中學校ヲ福井縣福井市江戸上町ニ設置シ明治四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十三年三月二十四日　文部大臣　小松原英太郎

文部省告示第九十八號

福井縣私立北陸中學校

右ハ徴兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治四十三年三月二十四日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第百五十號

明治四十三年三月十二日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登錄セリ

明治四十三年三月二十四日　農商務大臣　男爵大浦兼武

漁業ノ種類及名稱　漁獲物ノ種類　漁業時期

鯛底曳網漁業　鯛　自七月十五日至九月三十日
登錄番號　第一一三五號
入漁區域　神奈川縣三浦郡北下浦村大字長澤及大字津久井地先免許番號第五九三號ノ漁場內
入漁權者　神奈川縣三浦郡南下浦村大字上宮田、上宮田漁業組合

肥料藻漁業　肥料藻　自一月一日至五月三十一日
和布漁業　和布　自三月一日至七月三十一日
石花菜漁業　石花菜　自三月一日至八月三十一日
鹿角菜漁業　鹿角菜　同
いぎす漁業　いぎす　同
蠑螺漁業　蠑螺　同
登錄番號　第一一三六號
入漁區域　神奈川縣三浦郡浦賀町大字鴨居地先免許番號第六二六號漁場（但肥料藻漁業ノ入漁區域ハ別紙漁場圖ノ通リ）
入漁期間　免許番號第六二六號免許期間
入漁料　ナシ
入漁權者　神奈川縣三浦郡久里濱村大字內川新田、內川新田八幡漁業組合

蠑螺漁業　蠑螺　自一月一日至十二月三十一日
搗布漁業　搗布（荒布ヲ含ム）　同
和布漁業　和布　自二月一日至七月三十一日
鹿尾菜漁業　鹿尾菜　自九月一日至翌年五月三十一日
石花菜漁業　石花菜　自三月一日至八月三十一日
肥料藻漁業　肥料藻　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一三七號
入漁區域　神奈川縣三浦郡三崎町、南下浦村界ヨリ三崎町大字六合字向ヶ崎、田中界ニ至ル地先免許番號第三五九四號ノ漁場
其他ノ權利義務　蠑螺漁業ノ漁業方法ハ見突ニ限ル
入漁權者　神奈川縣三浦郡三崎町大字六合三千百三番地、下里德藏

蠑螺漁業　蠑螺　自一月一日至十二月三十一日
搗布漁業　搗布（荒布ヲ含ム）　同
和布漁業　和布　自二月一日至七月三十一日
鹿尾菜漁業　鹿尾菜　自九月一日至翌年五月三十一日
肥料藻漁業　肥料藻　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一三八號
入漁區域　神奈川縣三浦郡三崎町、南下浦村界ヨリ三崎町大字六合字向ヶ崎、田中界ニ至ル地先免許番號第三五九四號ノ漁場
其他ノ權利義務　蠑螺漁業ノ漁業方法ハ見突ニ限ル
入漁權者ノ代表者　神奈川縣三浦郡三崎町大字六合二千三百三十五番地、藤崎八五郎

鮑漁業　鮑　自一月一日至十二月三十一日
蠑螺漁業　蠑螺　同
石花菜漁業　石花菜　自三月一日至八月三十一日
磯建網漁業　龍蝦　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一三九號
入漁區域　神奈川縣三浦郡三崎町南下浦村界ヨリ三崎町大字六合字向ヶ崎、田中界ニ至ル地先免許番號第三五九四號ノ漁場
入漁期間　明治五十五年十一月三十日迄
其他ノ權利義務　蠑螺漁業ノ漁業方法ハ見突ニ限ル
入漁權者　神奈川縣三浦郡三崎町大字城ヶ島、城ヶ島漁業組合

鯛底曳網漁業　鯛　自四月一日至十月三十一日
海鼠漁業　海鼠　自一月一日至十二月三十一日
玉珧漁業　玉珧　同
みるくい漁業　みるくい　同
蛤漁業　蛤　同
蜊漁業　蜊　同
登錄番號　第一一四〇號
入漁區域　神奈川縣久良岐郡金澤村大字柴地先免許番號第六三五號漁場內
入漁料　ナシ
入漁權者　神奈川縣三浦郡浦鄉村、浦鄉村漁業組合

海鼠漁業　海鼠　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一四一號
入漁區域　神奈川縣久良岐郡金澤村大字洲崎、大字野島界ヨリ大字野島字西町石堤ニ至ル地先免許番號第六三五號ノ漁場內
入漁料　ナシ
入漁權者　神奈川縣三浦郡浦鄉村、浦鄉村漁業組合

建干網漁業　鮃、鯔、鱚、鯒、鰈　自三月一日至十一月三十日
登錄番號　第一一四二號
入漁區域　三重縣三重郡川越村大字龜尾新田ホヘ割ヨリ桑名三重兩郡界町屋川ニ至ル間ノ地先免許番號第三一二一號ノ漁場內
入漁權者　三重縣三重郡川越村大字南福崎、南福崎漁業組合

蝦曳網漁業　蝦　自一月一日至十月三十一日
登錄番號　第一一四三號
入漁區域　三重縣桑名、三重兩郡界町屋川ヨリ伊曾島村木曾川防波堤ニ至ル間ノ水面免許番號第三一二一號ノ漁場內
入漁權者　三重縣三重郡富田村、富田漁業組合

蝦曳網漁業　蝦　自一月一日至十月三十一日
登錄番號　第一一四四號
入漁區域　三重縣桑名、三重兩郡界町屋川ヨリ伊曾島村木曾川防波堤ニ至ル間ノ水面免許番號第三一二一號ノ漁場內
入漁權者　三重縣三重郡富洲原村、富洲原漁業組合

海蘿漁業　海蘿　自十月一日至翌年六月三十日
鹿尾菜漁業　鹿尾菜　自九月一日至翌年六月三十日
海苔漁業　海苔　自十一月一日至翌年五月三十日
肥料藻漁業　肥料藻　自七月一日至九月三十日
登錄番號　第一一四五號
入漁區域　三重縣志摩郡波切村ノ內大井濱地先免許番號第三一五四號漁場內
入漁權者ノ代表者　三重縣志摩郡名田村、名田村漁業組合

碇止四艘張網漁業　鯵、鯖、鰤　自七月一日至翌年三月三十一日
登錄番號　第一一四六號
入漁區域　三重縣志摩郡名田村地先ノ內（タロゼ）免許番號第三一五五號漁場內

入漁權者　三重縣志摩郡波切村、波切村漁業組合

龍蝦刺網漁業　龍蝦、磯魚　自九月一日至翌年五月三十一日
登錄番號　第一一四七號
入漁區域　三重縣志摩郡志摩村大字答志ノ沖合免許番號第三六三二號ノ漁場內
入漁權者　三重縣志摩郡菅島村、菅島漁業組合

鯔小地曳網漁業　鯔、鯵　自四月一日至七月三十一日
登錄番號　第一一四八號
入漁區域　三重縣三重郡鹽濱村及四日市市ノ地先免許番號第三五八〇號ノ漁場
入漁權者　三重縣三重郡富田村、富田漁業組合

鰍建網漁業　鰍　自九月一日至翌年五月三十一日
登錄番號　第一一四九號
入漁區域　三重縣度會郡中島村大字大方竈字水谷ヨリ字野島ニ至ル間ノ地先免許番號第二三一六號ノ漁場
入漁權者　三重縣度會郡南海村大字相賀浦、相賀浦漁業組合

鯛底曳網漁業　鯛　自九月一日至十月三十日
龍蝦刺網漁業　龍蝦、磯魚　自十一月一日至翌年四月三十日
あをさ漁業　あをさ　自十二月一日至翌年五月三十一日
登錄番號　第一一五〇號
入漁區域　三重縣度會郡神原村大字木谷檜崎ヨリ宿田曾村大字宿浦アノキノ鼻ニ至ル間ノ地先免許番號第三六二八號ノ漁場內
其他ノ權利義務　龍蝦刺網漁業ノ入漁區域ハ檜崎漁場ニ限ル
入漁權者　三重縣度會郡五ケ所村大字中津濱、中津濱浦漁業組合

鯔刺網漁業　鯔　自十月一日至翌年四月三十日
鮃刺網漁業　鮃　自十一月一日至十二月三十一日
於胡菜漁業　於胡菜　自十一月一日至翌年四月三十日
登錄番號　第一一五一號
入漁區域　三重縣度會郡北濱村大字有瀧ヨリ大湊町西ノ川東岸ニ至ル間ノ地先及大湊町沖合免許番號第三六三五號ノ漁場
入漁權者ノ代表者　三重縣度會郡豐濱村大字樫原百七十七番地、北河佐吉

いしこ漁業　いしこ　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一五二號
入漁區域　三重縣度會郡北濱村大字村松同有瀧界ヨリ寬永度塚ニ至ル村松ノ地先免許番號第三六三七號ノ漁場
入漁權者ノ代表者　三重縣度會郡北濱村大字東大淀、東大淀漁業組合

玉筋魚船曳網漁業　玉筋魚　自四月一日至六月三十日
鰛桁網漁業　鰛　自一月一日至五月三十一日
綟網漁業　鮃、鯔、鯵、せいご、またか　自八月十六日至翌年三月二十日
笯漁業　鰻、鯽　自四月一日至九月三十日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至十二月三十一日
いしこ漁業　いしこ　同
登錄番號　第一一五三號
入漁區域　三重縣度會郡北濱村大字村松寬永度塚ヨリ多氣郡大淀村ニ至ル間ノ沖合免許番號第三六三八號ノ漁場內
入漁權者　三重縣多氣郡下御絲村、下御絲村漁業組合

海鼠漁業　海鼠　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一五四號
入漁區域　三重縣度會郡北濱村大字村松寬永度塚ヨリ多氣郡大淀村ニ至ル間ノ沖合免許番號第三六三八號ノ漁場內
入漁權者ノ代表者　三重縣度會郡豐濱村大字土路西條、土路西條漁業組合

鯵船曳網漁業　鯵　自五月一日至九月三十日
玉筋魚船曳網漁業　玉筋魚　自四月一日至六月三十日
つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
鰛桁網漁業　鰛　自一月一日至五月三十一日
綟網漁業　鮃、鯔、鯵、せいご、またか　自八月十六日至翌年三月二十日
笯漁業　鰻、鯽　自四月一日至九月三十日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至十二月三十一日
海鼠漁業　海鼠　同
登錄番號　第一一五五號
入漁區域　三重縣多氣郡下御絲村大淀村境ヨリ下御絲村大字北藤原字木場石刎ニ至ル下御絲村ノ地先免許番號第三六三九號漁場
入漁權者　三重縣度會郡北濱村大字村松、村松漁業組合

辛螺漁業　辛螺　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一五六號
入漁區域　三重縣多氣郡下御絲村大字北藤原字木場石刎ヨリ大淀村界ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四〇號漁場內
其他ノ權利義務　漁業ノ方法ハ桁網ニ限ル
入漁權者　三重縣度會郡北濱村大字村松、村松漁業組合

鯵船曳網漁業　鯵　自五月一日至九月三十日
玉筋魚船曳網漁業　玉筋魚　自四月一日至六月三十日
つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
鰛桁網漁業　鰛　自一月一日至五月三十一日
綟網漁業　鮃、鯔、鯵、せいご、またか　自八月十六日至翌年三月二十日
笯漁業　鰻、鯽　自四月一日至九月三十日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至十二月三十一日
海鼠漁業　海鼠　同
登錄番號　第一一五七號
入漁區域　三重縣多氣郡下御絲村大淀村境ヨリ下御絲村大字北藤原字木場石刎ニ至ル下御絲村ノ地先免許番號第三六三九號漁場
入漁權者　三重縣度會郡北濱村大字東大淀、東大淀漁業組合

辛螺漁業　辛螺　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一五八號
入漁區域　三重縣多氣郡下御絲村大字北藤原字木場石刎ヨリ大淀村界ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四〇號ノ漁場內
其他ノ權利義務　漁業ノ方法ハ桁網ニ限ル
入漁權者　三重縣度會郡北濱村大字東大淀、東大淀漁業組合

つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至三月三十一日
登錄番號　第一一五九號
入漁區域　三重縣津市ヨリ安濃郡藤水村大字藤方字高砂ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四七號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡栗眞村大字町屋、町屋漁業組合

馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至三月三十一日
登錄番號　第一一六〇號
入漁區域　三重縣津市大字乙部及中河原ノ地先免許番號第三六四八號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡栗眞村大字町屋、町屋漁業組合

鰛桁網漁業　鰛　自十一月一日至翌年四月三十日
つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
蛤漁業　蛤　自三月一日至五月三十一日
蜊漁業　蜊　同
登錄番號　第一一六一號
入漁區域　三重縣安濃郡藤水村大字藤方字高砂ヨリ津市境ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四七號ノ漁場內
入漁權者　三重縣安濃郡藤水村大字藤方、藤方浦漁業組合

つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至三月三十一日
登錄番號　第一一六二號
入漁區域　三重縣津市ヨリ安濃郡藤水村大字藤方字高砂ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四七號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡白塚村、白塚村漁業組合

つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至三月三十一日
登錄番號　第一一六三號
入漁區域　三重縣津市ヨリ安濃郡藤水村大字藤方字高砂ニ至ル間ノ地先免許番號第三六四七號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡榮村、榮村漁業組合

つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一六四號
入漁區域　三重縣津市乙部及中河原地先免許番號第三六四八號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡白塚村、白塚村漁業組合

馬珂介漁業　馬珂介　自一月一日至三月三十一日
登錄番號　第一一六五號
入漁區域　三重縣津市大字乙部及中河原地先免許番號第三六四八號ノ漁場
入漁權者　三重縣河藝郡上野村大字千里、上野村千里漁業組合

つぶこ桁網漁業　つぶこ　自一月一日至十二月三十一日
登錄番號　第一一六六號
入漁區域　三重縣津市大字乙部及中河原ノ地先免許番號第三六四七號ノ漁場內
入漁權者　三重縣河藝郡上野村千里、上野村千里漁業組合

第8022号　本文

遞信省告示第三百七十一號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
永盛（ナガモリ）郵便局	福島縣安積郡永盛村
奥川（オクカワ）郵便局	福島縣耶麻郡奥川村
西德富（ニシトツプ）郵便局	北海道石狩國樺戸郡新十津川村字西德富市街地
東十郷（ヒガシジツゴウ）郵便局	福井縣坂井郡東十郷村

遞信省告示第三百七十二號
本月二十五日限リ左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置	承繼局名
阿牛郵便局	石川縣能美郡別宮村	尾小屋郵便局
春江郵便局	福井縣坂井郡春江村	東十郷郵便局
多武峰郵便局	奈良縣磯城郡多武峰村	櫻井郵便局
口明方郵便局	岐阜縣郡上郡口明方村	畑佐郵便局
石薬師郵便局	三重縣鈴鹿郡石薬師村	高津瀬郵便局
大原郵便局	岐阜縣大野郡清見村	三日町郵便局
飴田郵便局	福岡縣嘉穂郡飯塚町	飯塚郵便局

遞信省告示第三百七十三號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
寶塚郵便局	兵庫縣武庫郡良元村
池田驛前郵便局	兵庫縣川邊郡川西村
吉永郵便局	岡山縣和氣郡英保村
多寄郵便局	北海道天鹽國上川郡多寄村
幾寅郵便局	北海道石狩國空知郡下富良野村
眞駒內郵便局	北海道後志國瀬棚郡東瀬棚村
古武井郵便局	北海道渡島國龜田郡尻岸內村字古武井
輪西郵便局	北海道膽振國室蘭郡輪西村
琴似郵便局	北海道石狩國札幌郡琴似村
大森郵便局	福島縣信夫郡大森村
立野郵便局	富山縣西礪波郡立野村
西山郵便局	三重縣南牟婁郡西山村
畑佐郵便局	岐阜縣郡上郡奥明方村

遞信省告示第三百七十四號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
名古屋竪杉ノ町（ナゴヤタテスギノチヨウ）郵便局	名古屋市東區上竪杉ノ町（名古屋赤塚局集配區內）
名古屋東陽舘通（ナゴヤトウヨウクワンドホリ）郵便局	名古屋市中區前津小林（名古屋局集配區內）
新津驛前（ニイツエキマエ）郵便局	新潟縣中蒲原郡新津町（新津局集配區內）
柏崎四ツ谷（カシハザキヨツヤ）郵便局	新潟縣刈羽郡比角村（柏崎局集配區內）
西牟田（ニシムタ）郵便局	福岡縣三瀦郡西牟田村（大善寺局集配區內）

遞信省告示第三百七十五號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	現在位置	移轉位置
青山郵便局	東京市赤坂區青山南町三丁目	東京市赤坂區青山南町四丁目

遞信省告示第三百七十六號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

現名稱	改稱	位置
大阪大川町郵便局	大阪淀屋橋（オオサカヨドヤバシ）郵便局	大阪市東區大川町
大阪池田町郵便局	大阪天神橋筋五（オオサカテンジンバシスジ）郵便局	大阪市北區天神橋筋五丁目
下田原郵便局	田原（タワラ）郵便局	和歌山縣東牟婁郡田原町
和歌山洲崎町郵便局	和歌山兵營前（ワカヤマヘイエイマエ）郵便局	和歌山市東長町十一丁目

遞信省告示第三百七十七號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
守實郵便局	大分縣下毛郡三郷村
田野郵便局	高知縣安藝郡田野村

遞信省告示第三百七十八號
來四月一日ヨリ左記電信局ヲ二等郵便局ニ改定下記ノ通改稱ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置	改稱
大阪玉造電信局	大阪市東區東雲町二丁目	大阪玉造郵便局（大阪高麗橋局集配區內）

遞信省告示第三百七十九號
本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
西和良（ニシワラ）郵便局	岐阜縣郡上郡西和良村

遞信省告示第三百八十號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
明治四十三年三月二十四日　遞信大臣　男爵後藤新平

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
庄野郵便局	三重縣鈴鹿郡庄野村	高津瀬（タカツセ）郵便局	三重縣鈴鹿郡高津瀬村

正誤

昨四十二年六月一日農商務省告示第二百六十六號中一段地番ノ部一、四九一ハ一、四九一ノ一二段面積ノ部一〇、三七二五ノ內ハ一〇、三七二五ノ孰モ誤
農商務書記官

去月四日遞信省告示第百三十五號中鏡川面ハ鏡川免ノ誤　遞信省參事官
昨二十三日陸達第九號簡閱點呼執行規則第十八條中各二週ハ各二通遞信省告示第三百六十九號表中香港洋銀ノ欄「八六・五〇〇」ハ「四八六・五〇〇」ノ誤（以上誤植）

○敍任及辭令

○明治四十三年三月二十三日

敍正四位　從四位勳三等　吉田公宗
陞敍高等官二等　東京女子高等師範學校教授正五位勳四等　野口保興
陞敍高等官六等　專賣局主事補正七位勳六等　塚本政之助
任文部省視學官兼文部省圖書審查官　文部省圖書審查官從六位　淺井郁太郎
敍高等官五等
任文部省圖書審查官　文部編修正七位　武笠三
敍高等官七等
陞敍高等官三等　山林技師正六位勳六等　宮島多喜郎
陞敍高等官三等　山梨縣技師正六位　木村貫一郎
任群馬縣技師
敍高等官四等　岡山縣技師正六位勳六等　青山三治郎
任山梨縣技師
敍高等官六等　長澤傳六
任島根縣能義郡長
敍高等官六等　島根縣邑智郡長正七位勳六等　橫山喜雄
任島根縣邑智郡長
敍高等官七等　內務屬從七位勳七等　加藤信次郎
新潟縣三島郡立富岡農業學校長兼新潟縣三島郡立富岡農業學校教諭ニ任ス　從七位　眞山總三郎
奈良縣女子師範學校教諭ニ任ス　福岡縣小倉師範學校教諭　加納安次郎
石川縣立高等女學校教諭ニ任ス　新潟縣立柏崎中學校教諭　橋元半次郎
熊本縣立球磨農業學校長ニ任ス　山形縣立置賜農學校教諭從七位　渡部太郎
群馬縣農事試驗場技師ニ任ス　岡山縣農事試驗場技師正六位勳六等　青山三治郎
奈良縣農業技師ニ任ス　奈良縣農業技手　田北貞

補海軍軍令部參謀　海軍少將　山下源太郎
（各通）
依願免本官　統監府判事　洪聖淵
島根縣能義郡長　青山久之助
島根縣技師　岡崎正太郎
本職ヲ免シ大分縣立大分高等女學校教諭ニ專任ス　大分縣女子師範學校教諭兼大分縣立大分高等女學校教諭　廣瀬敏
願ニ依リ本職ヲ免ス（以上三月二十三日內閣）　千葉縣林業技師　佐藤鍾郎

勳等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被褫　勳七等　長尾宰二郎
（各通）
勳八等　吉田又次郎
勳八等　柴田丈吉
勳八等　西岡善兵衛
勳八等　西野文二
勳八等　成田粕太郎
勳八等　山口寬次郎
勳八等　藤田梅治郎
勳八等　松原惣次郎
勳八等　淺野伊平
勳八等　松邑留吉
勳八等　松田定市
勳八等　澤田定八郎
勳八等　林政助
勳八等　赤川亮太郎
勳八等　上部宰藏
勳八等　加茂重太郎
勳八等　松尾作太郎
勳八等　小松、繁馬
勳八等　黑田作次
勳八等　小岩市太郎
勳八等　佐々木平吉
勳八等　川口忠五郎
勳八等　濱中熊太郎

勳等及明治三十七八年從軍記章被褫　勳七等　秋葉全勇
勳等被褫
（各通）
中尾小三郎
山下勝太郎

明治二十七八年從軍記章被褫
（各通）
吉田福市
梓久兵衛
後藤善七
市原仙之助

明治三十七八年從軍記章被褫（以上二月七日賞勳局）
（各通）
勳六等功六級　福永六八
勳七等功六級　山田徹
勳八等功七級　庄司爲吉

勳等功級及明治三十七八年從軍記章被褫
勳六等　岡村市郎次
勳七等　吉川調太郎
勳七等　山口常次

（各通）

勳七等　野中善太郎
勳七等　藤原彥四郎
勳七等　松尾藤治郎
勳八等　松浦廣治郎
勳八等　太田松之助

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被褫

勳七等　伊藤二郎一
勳七等　田上又平

（各通）

勳七等　高森重基
勳七等　駒木新太郎
勳八等　下野福太郎

勳等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章被褫

勳七等　荒井爲藏

（各通）

勳八等　志摩八百五郎
勳八等　太竹桂太郎

勳等及明治二十七八年從軍記章被褫

勳六等　岡田駿二
勳七等　猪股小一郎
勳八等　重村龜槌
勳八等　今村辰之助
勳八等　大谷駒市
勳八等　二瓶豐介
勳八等　橋本重太郎
勳八等　熊谷甚吉
勳八等　高瀨與十郎
勳八等　小島福松
勳八等　條利平
勳八等　淺田保吉
勳八等　片山權四郎
勳八等　中井龜市
勳八等　石井半三郎
勳八等　關保太郎
勳八等　柴又留吉
勳八等　藤原襄三郎
勳八等　玉田春吉
勳八等　瀨古高治郎
勳八等　井田武一郎
勳八等　南部與太郎
勳八等　小淺貞郎
勳八等　福田龜藏
勳八等　森本荒次
勳八等　大谷廣彌
勳八等　佐藤繁治

勳八等　濱口鶴松
勳八等　高澤末太郎
勳八等　曳地與四郎
勳八等　三瀨慶治

（各通）

勳八等　芹澤傳兵衞
勳八等　齋藤平吉
勳八等　柳瀨信一
勳八等　牧野清香
勳八等　椿井薰
勳八等　蘇武勇吉
勳八等　增田德次郎
勳八等　安藤延次
勳八等　栗原關太郎
勳八等　武井定八郎
勳八等　山口竹次郎
勳八等　大辻米造
勳八等　西岡彥太郎
勳八等　小林寬治
勳八等　昆野寶八
勳八等　遊池淺治郎
勳八等　木間菊治
勳八等　山本峰一
勳八等　中島鶴二
勳八等　高島喜市郎
勳八等　場崎喜久治
勳八等　丸田大七
勳八等　坂田末吉
勳八等　長谷川政次郎
勳八等　宮本金作
勳八等　桑野清吉
勳八等　鈴木近松
勳八等　白岩盛貞
勳八等　前田留藏
勳八等　野本鐵之助

勳等及明治三十七八年從軍記章被褫

勳七等　草薙廣三郎
勳七等　高根澤昇
勳七等　池田辰之助
勳八等　吉田由太郎

（各通）

勳八等　大野德兵衞
勳八等　岡村佐吉
勳八等　鈴木祥英
勳八等　西出松次郎

（一〇）

勳八等　齋藤林太郎

勳等被褫
明治二十七八年從軍記章被褫

勳八等　天野清七
勳八等　野中幸助
勳八等　中島榮吉
勳八等　志村善太郎
勳八等　兼松庄太郎
勳八等　山田爲次郎
勳八等　田中春之助
勳八等　米田壽市

（各通）

勳八等　三好光之助
勳八等　中村不二磨
勳八等　吉川櫟
勳八等　伊藤八才
勳八等　山下養之助
勳八等　伊藤市右衞門
勳八等　田端繁雄

明治三十七八年從軍記章被褫（以上三月七日同）

勳七等　萩原粂次郎
勳八等　橋本金三郎

（各通）

勳八等　宮崎金造
勳八等　大久保由治

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章被褫

勳七等　野村正四郎

勳等及明治二十七八年從軍記章明治三十三年從軍記章被褫

勳等及明治三十三年從軍記章被褫

勳八等　野田小太郎

勳等功級及明治三十七八年從軍記章被褫

勳八等功六級　飯山周平
勳八等　安曾德三
勳八等　筏島國吉
勳八等　菅谷幸太郎
勳八等　竹內要造
勳八等　國田德吉
勳八等　檜山豐吉

（各通）

勳八等　辻源治郎
勳八等　今井彌三郎
勳八等　東直次郎
勳八等　管原新四郎
勳八等　岩松善藏
勳八等　辰巳寅吉

勳等及明治三十七八年從軍記章被褫

勳等被褫

勳八等　染川佐一郎
粂池兵三郎
松岡倉次郎

佐藤監次郎

（各通）

國兼留吉
池田貞藏
高橋保

明治二十七八年從軍記章被褫

明治三十三年從軍記章被褫

藤江茂一郎
森管清
川口三重作
東條彌三

（各通）

五十嵐鹿藏
饒波三貞

明治三十七八年從軍記章被褫（以上三月九日同）

鐵道院技師　島安次郎

運輸部勤務ヲ命ス

鐵道院技師　斯波權太郎

運輸部工作課長ヲ命ス（以上三月十二日鐵道院）

陸軍主計監從四位勳三等　吉田公宗

特旨ヲ以テ位一級被進（三月十三日宮內省）

島根縣能義郡長　青山久之助

（各通）

島根縣能義郡長　横山喜雄

四級俸下賜

五級俸下賜

島根縣邑智郡長　加藤信次郎
群馬縣技師　青山三治郎
山梨縣技師　長澤傳六

（各通）

年俸參拾圓下賜（以上三月十二日內務省）

專賣局主事補　塚本政之助

二級俸下賜（三月十三日大藏省）

近衞步兵第二聯隊中隊長陸軍步兵大尉　野原賢輔

第一師管軍法會議判士ヲ命ス

步兵第三十一聯隊中隊長陸軍步兵大尉　遺賓重雄

免本職補陸軍運輸部本部部員

陸軍運輸部本部部員陸軍工兵大尉　佐々木嘉久二郎

免本職補工兵第四大隊附

臨時陸軍建築部小倉支部部員陸軍工兵大尉　中村新藏

免本職補近衞工兵大隊附

步兵第二十九聯隊大隊副官陸軍步兵中尉　加藤長左衞門

免本職補步兵第二十九聯隊附

步兵第二十九聯隊附陸軍步兵中尉　中島鐵藏

免本職補步兵第二十九聯隊大隊副官

步兵第五十六聯隊附陸軍步兵中尉　諸藤九市

高瀨聯隊區司令部附勤務ヲ命ス

步兵第十五聯隊附陸軍步兵中尉　安坂管太郎

高崎聯隊區司令部附勤務ヲ免ス

步兵第十五聯隊附陸軍步兵中尉　黑瀨悅作

高崎聯隊區司令部附勤務ヲ命ス

軍馬補充部鍛冶谷澤支部部員陸軍騎兵中尉　蒲野滿槌

免本職補軍馬補充部白河支部部員

補佐世保重砲兵大隊附

陸軍砲兵少尉　竹森高介

（各通）

步兵第十二聯隊中隊長陸軍步兵大尉　角峰造
步兵第五十六聯隊附陸軍步兵中尉　谷口誠太郎

休職被仰付

近衞步兵第一聯隊附陸軍一等軍醫　秋田友男
近衞步兵第二聯隊附陸軍一等軍醫　鈴木三郎
近衞步兵第三聯隊附陸軍一等軍醫　伊藤菊遽

（一一）

第8022号 本文

(各通)

騎兵第十三聯隊附陸軍一等軍醫 坂谷一雄
近衞步兵第四聯隊附陸軍二等軍醫 一宮重之助
近衞工兵大隊附陸軍二等軍醫 山田伊之助
近衞輜重兵大隊附陸軍二等軍醫 安藤資暦
氣球隊附陸軍二等軍醫 伊藤祐次
近衞騎兵聯隊附陸軍三等軍醫 三井總策

明治四十三年徴兵事務執行中第二師團附兼勤被仰付
野砲兵第十四聯隊附陸軍三等軍醫 渡邊重光

明治四十三年徴兵事務執行中第一師團附兼勤被仰付
東京砲兵工廠附陸軍一等軍醫 大森篤次

明治四十三年徴兵事務執行中第四師團附兼勤被仰付
大阪砲兵工廠附陸軍二等軍醫 鈴木熊太郎

明治四十三年徴兵事務執行中第六師團附兼勤被仰付
熊本陸軍地方幼年學校附兼同校教官陸軍二等軍醫 大河內雪

休職被仰付(以上三月十三日陸軍省)
札幌衞戍病院附陸軍三等藥劑官 佐藤寬

退職ヲ命ス
大審院檢事 佐倉強哉

補大審院檢事
大分地方裁判所檢事正 秋田政德

補新潟地方裁判所檢事
新發田區裁判所檢事 諸岡眞佐

補長野地方裁判所檢事
上田區裁判所檢事 磯好道

補上田區裁判所判事
上諏訪區裁判所判事 松澤常四郎

補上諏訪區裁判所判事
上田區裁判所判事 齋藤喜三郎

(各通)

一級俸下賜
三級俸下賜
四級俸下賜(以上三月十三日司法省)
七級俸下賜(三月十七日京都府)

大審院檢事 秋田政德
根室地方裁判所檢事正 淺野親至
甲府地方裁判所檢事正 橫田信譲
山形地方裁判所檢事正 高木盛之輔
新潟地方裁判所檢事 諸岡眞佐
長野地方裁判所檢事 磯好道
京都市立繪畫專門學校長文學博士 松本亦太郎

○宮廷錄事

○帝國議會閉會式 今二十四日午前十一時貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行致スヘキ旨昨二十三日仰出サレタリ

○彙報

○官廳事項

○勳等功級及從軍記章褫奪 勳章褫奪令第一條ニ依リ勳等功級及從軍記章ヲ褫奪セラレタル者左ノ如シ(氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ)

勳四等
松浦 五兵衞(四二、一二、一七)
荻野 芳巖(四二、一二、一七)
橫田 虎彦(四二、一二、一七)
栗原 亮一(四二、一二、一七)
澤田 寧(四二、一二、一七)
長谷川 豐吉(四二、一二、一七)

勳五等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章
柏尾 具包(四二、八、三一)

勳七等
東田 廣治(四二、一一、三〇)
豐田 重市(四二、一二、三一)

勳七等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章
縞本 千代吉(四二、一〇、一一)

勳七等及明治三十三年從軍記章明治三十七八年從軍記章
岡本 靈夫(四二、一二、二〇)
俵 正助(四二、一一、三〇)

勳七等及明治三十七八年從軍記章
瀧澤 重吉(四二、一一、一六)
廣瀨 新次郎(四二、七、一一)
菅野 重太郎(四二、一〇、三一)
甲斐 正作(四二、一一、一五)

勳八等
西牟田 早二(四二、一一、四)
岩本 傳次郎(四二、一一、二九)
大須賀 熊治(四二、一〇、一)

勳八等及明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章
矢土 德藏(四二、一一、六)
光定 勘次郎(四二、一一、四)
八木 力松(四二、一一、九)
大川 梅藏(四二、一一、一七)

勳八等功七級及明治三十七八年從軍記章
青山 幸次郎(四二、一一、一六)

勳八等及明治三十七八年從軍記章
西村 小一(四二、八、二九)
石川 養治(四二、八、三〇)
石綿 石松(四二、一一、八)
津田 時次郎(四二、七、三一)
小林 常藏(四二、九、一)
吉田 勘之丞(四二、三、六)
海老沼 平次郎(四二、一一、一五)
大塚 庄右衞門(四二、七、三〇)
原田 岩太郎(四二、一〇、一七)
吉田 一(四二、一一、一四)
本間 仁作(四二、一一、二一)
增永 伍次郎(四二、一一、二五)
藤利 梅太郎(四二、一〇、二七)
右田 光太(四二、八、二一)
小山 茂七(四二、一二、三一)
都竹 松三郎(四二、一一、一七)
大本 房太郎(四二、一〇、一)
山村 米太郎(四二、一〇、二一)
相原 定吉(四二、四、二〇)
川西 彌治郎(四二、九、一九)
長內 貞次郎(四二、九、一四)
宇井 龜次郎(四二、八、三〇)
板倉 三四郎(四二、八、二五)
伊藤 峯四郎(四二、九、六)
林 勘太郎(四二、七、一五)
飯田 庄作(四二、九、九)
佐藤 伍三郎(四二、一〇、一一)
佐藤 銀之介(四二、一一、一六)
塚原 八百八(四二、一二、一〇)
瀧野 乙治郎(四二、一〇、六)
藤本 高次郎(四二、七、七)
橫尾 熊太郎(四二、一一、一一)
中川 保治(四二、一一、二五)
村上 與七(四二、一〇、一四)
佐藤 治三郎(四二、六、六)
島田 茂八(四二、一〇、二一)
齊藤 逸太郎(四二、一一、三〇)
鮒田 九助(四二、九、二六)
小林 平作(四二、九、二三)
高橋 昌(四二、一二、一)
木下 寬一(四二、八、二三)
川內 淸吉(四二、一一、二二)
若木 正晴(四二、一一、二一)
森本 龜三郎(四二、九、四)
尾形 秀次(四二、七、一二)
紅林 正雄(四二、一一、四)
棚橋 猶治(四二、一二、一九)
小田切 要(四二、八、一七)
宮崎 榮太郎(四二、五、一)
竹林 長太郎(四二、一一、一七)
渡邊 嘉介(四二、一一、二六)
伊藤 庄太郎(四二、九、二九)
池田 久藏(四二、一〇、五)
笹原 善太郎(四二、一二、二一)
渡邊 彌一郎(四二、一〇、一七)
堀川 平一郎(四二、一一、三)
古舘 三郎(四二、一一、一二)
富田 富吉(四二、一一、一一)
西村 米吉(四二、一一、二一)
宮崎 淸次郎(四二、一一、三〇)
飯島 常次郎(四二、九、二八)
西田 傳治(四二、一一、二六)
小田 米太郎(四二、一一、一一)
伊東 八郎(四二、一一、二〇)
山根 定吉(四二、一一、一七)
松井 外男(四二、一一、一三)
宮部 重太郎(四二、九、二九)
脊戶 平吉(四二、一〇、一三)
森 貞次郎(四二、八、一九)
久保田 杉松(四二、一二、一四)
龜井 清作(四二、五、二)
安田 由平(四二、一二、二三)
細井 勝二(四二、一〇、二〇)
原山 榮之助(四二、六、二一)
川島 庄之助(四二、一〇、一八)
清水 萬四郎(四二、九、二四)
鈴木 倉之助(四二、六、八)
長谷川 勇馬(四二、一〇、三〇)
鈴木 長次郎(四二、一一、二八)
佐藤 由藏(四二、一一、二三)
堤 本藏(四二、一一、二二)
中村 宗太郎(四二、一一、六)
齋藤 知助(四二、一一、九)
河村 新一(四二、一一、一六)
石川 兵衞(四二、五、一三)
小林 龜治(四二、五、七)
阿部 安太郎(四二、六、一)
大瀨 永次郎(四二、一一、一五)
原 仙太郎(四二、一〇、一八)
佐藤 佐吉(四二、一一、二五)
萱野 己之里(四二、一一、二一)
篠塚 隆治(四二、一一、二八)
吉田 義介(四二、一二、一四)
伊藤 政五郎(四二、八、二)
小笠原 彌作(四二、一二、二〇)

明治二十七八年從軍記章
森本 末吉(四二、一二、二四)
忍穗 房之助(四二、一〇、六)

明治三十七八年從軍記章
東澤 龜吉(四二、一〇、七)
中村 嘉市(四二、九、一一)
佐藤 正太郎(四二、一二、六)
田野 房太郎(四二、七、五)
上野 多見藏(四二、九、七)
山本 源太郎(四二、九、五)
高倉 千代松(四二、九、一三)
立石 謙治(四二、一二、一二)
堀上 吉次郎(四二、一二、一)
白川 正明(四二、一〇、一)
岡本 英太郎(四二、一一、二六)
石岡 文八郎(四二、一一、二九)
山本 傳太郎(四二、一〇、三一)
小林 貢(四二、一一、一八)
丸 香(四二、八、一一)
松本 喜惣治(四二、三、九)

○休職滿期 休職巖手縣立農學校教諭池松常記ハ去月十九日、同海上郡銚子町外二町五箇村組合立銚子中學校長兼海上郡銚子町外二町五箇村組合立銚子中學校教諭柴田熊太郎ハ同二十八日、同郡立栗原農學校長兼郡立栗原農學校教諭高村儉治ハ本月一日、同佐賀縣立小城中學校教諭吉田哲雄ハ同九日孰モ休職滿期ト爲レリ

○官吏發著 曩ニ滋賀縣大津地方ヘ出張ノ蠣崎步兵第二十八旅團長及京阪地方ヘ出張ノ隈元野砲兵第二旅團長ハ本月十九日、佐野地方ヘ出張ノ鮫島第十四師團長ハ同二十日孰モ歸著●千葉縣下習志野地方ヘ出張ノ澁谷輜重兵監ハ同十九日歸京更ニ輜重兵第十五大隊教育實視ノタメ豐橋地方ニ向ヒ豐島重砲兵監ハ重砲兵大隊教育實視ノタメ函館地方ニ向ヒ同二十一日、渡邊第三師團長ハ第一期末檢閱實視ノタメ步兵第五十一聯隊ニ向ヒ一昨二十二日、本鄕教育總監部本部長ハ仙臺陸軍地方幼年學校教育實視ノタメ仙臺ニ向ヒ昨二十三日孰モ出發●曩ニ茨城、栃木、群馬三縣下ヘ出張ノ上田近衞師團長及栃木縣下ヘ出張ノ梅澤近衞步兵第二旅團長ハ本月二十日、茨城縣地方ヘ出張ノ依田步兵第一旅團長及第一師團參謀長橋本勝太郎ハ同二十一日孰モ歸京セリ

宮城縣外一縣ヘ出張ヲ命セラレタル眞野文部省實業學務局長ハ昨二十三日出發セリ

司法警察及監獄

○辯護士名簿登錄 埼玉縣平民若林仁作ノ請求ニ依リ本月十八日東京地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ニ登錄セリ

○出火 本月十七日午後十二時東京府北多摩郡多摩村大字是政ヨリ出火全燒一戶同十八日午前一時三十分鎭火原因過失同十八日午前零時五分同東京市神田區乘物町十一番地ヨリ出火全燒一戶、半燒二戶同時三十五分鎭火同二十日午後六時四十分同豐多摩郡淀橋町大字角筈ヨリ出火二戶燒失負傷者一同七時鎭火原因過失同二十一日午後七時十三分同南葛飾郡龜戶町大字柳島ヨリ出火一戶燒失同時四十五分鎭火セリ

○受刑者刑名別 本年一月末日現在受刑者刑名別左ノ如シ(△印ハ減)

刑名		男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較
懲役刑	無期懲役	五九	七	六六	五九	四	七	六二
有期懲役	十五年以上	五五五	一五	五七〇	五三八	六六	三二	五〇四
	十五年未滿	一、九七三	四〇	二、〇一三	一、九一五	二九五	九八	一、七一八
	十年未滿	四、八〇八	二三一	五、〇三九	四、八二七	九〇四	二一二	四、一三五
	五年未滿	四、一五一	二七三	四、四二四	四、二一五	九一五	二〇九	三、五〇九
	三年未滿	一二、七一一	七三一	一三、四四二	一三、〇〇四	二、三五八	四三八	一一、〇八四
	一年未滿	七、三三二	五七〇	七、九〇二	八、二四五	一、九四二	△三四三	五、九六〇
	六月未滿	五、〇九五	五二一	五、六一六	五、九三九	三、一五八	△三二三	二、四五八
	二月未滿	一二一	一九	一四〇	二一一	一一九	△七一	二一
	計	三六、七四六	二、四〇〇	三九、一四六	三八、八九四	九、七五七	二五二	二九、三八九
舊刑法ノ刑	無期徒刑	一、六三五	八三	一、七一八	一、七二二	一、七六一	△四	△四三
	有期徒刑	三、〇一四	二六〇	三、二七四	三、三〇六	三、六五四	△三二	△三八〇
	重懲役	二、二九七	三一七	二、六一四	二、六五二	三、一一三	△三八	△四九九
	輕懲役	二、七五四	一四六	二、九〇〇	二、九四二	三、五五〇	△四二	△六五〇
重禁錮	五年以上	二、三七八	二五	二、四〇三	二、四五五	三、〇六六	△五二	△六六三
	五年未滿	五、〇七六	九八	五、一七四	五、三五〇	六、七一二	△一七六	△一、五三八
	三年未滿	三、八六六	一一三	三、九七九	四、三三六	一〇、一四五	△三五七	△六、一六六
	一年未滿	四〇〇	二一	四二一	四七五	三、〇八五	△五四	△二、六六四
	六月未滿	二五八	二四	二八二	二九九	一、一七二	△一七	△八九〇
	二月未滿	一七	一	一八	二八	一三〇	△一〇	△一一二
	計	一一、九九五	二八二	一二、二七七	一二、九四三	二四、三一〇	△六六六	△一二、〇三三
舊刑		二	—	二	二	四	—	△二
合計		五八、五〇二	三、四九五	六一、九九七	六二、五二〇	四六、一五三	△五二三	一五、八四四
禁錮刑	無期禁錮	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮	十五年以上	—	—	—	—	—	—	—
	十五年未滿	—	—	—	—	—	—	—
	十年未滿	三	—	三	三	—	—	三
	五年未滿	二	—	二	二	—	—	二
	三年未滿	五	—	五	五	—	—	五
	一年未滿	五	—	五	四	—	一	五
	六月未滿	二三	—	二三	三一	二	△八	二一
	二月未滿	六	—	六	一〇	八	△四	△二
	計	四四	—	四四	五五	一〇	△一一	三四
舊刑法ノ刑	無期流刑	一〇	—	一〇	一〇	一〇	—	—
	有期流刑	一七	—	一七	一七	一八	—	△一
	重禁獄	一	—	一	一	二	—	△一
	輕禁獄	三	—	三	三	五	—	△二
輕禁錮	三年以上	三	—	三	三	四	—	△一
	三年未滿	三	—	三	五	七	△二	△四
	一年未滿	五	—	五	五	四	—	一
	六月未滿	六	—	六	五	九	一	△三
	二月未滿	—	—	—	一	三	△一	△三
	計	一七	—	一七	一九	二七	△二	△一〇
合計		九二	—	九二	一〇五	七二	△一三	二〇
拘留		八八七	二四三	一、一三〇	九九五	一、四一八	一三五	△二八八
總計	初犯	二七、一八九	二、七〇三	二九、八九二	三〇、二一七	一七、一四七	△三二五	一二、七四五
	累犯	三二、二九二	一、〇三五	三三、三二七	三三、四〇三	三〇、四九六	△七六	二、八三一
	計	五九、四八一	三、七三八	六三、二一九	六三、六二〇	四七、六四三	△四〇一	一五、五七六

褒賞

○特例銀杯下賜 公同ノ事務ニ勤勉セシ廉ヲ以テ賞勳局ニ於テ本月十日特例銀杯ヲ下賜シタル者左ノ如シ

元三重縣桑名郡益生村長勳七等 水谷次郎八

資性溫良夙ニ村政ニ從ヒ聲望アリ町村制施行ノ際選マレテ村長ト爲リ任滿ツル毎ニ膺選シ其職ニ在ルヤ克ク地方自治ノ發達ヲ圖リ百難ヲ排シテ校舍ノ改築ヲ企畫シ桑園ヲ闢キテ養蠶ヲ獎勵シ殊ニ樋管ヲ修築シテ惡水

第8022号　本文

櫛「ピン」髮止竝ニ香水吹類	二	同	關口源太郎ヨリ購入
織物類	四	栃木	木村淺七ヨリ購入
青銅花瓶	一	京都	平野吉兵衛ヨリ購入
銅器類	二	富山	鹽崎利平ヨリ購入
漆器	一	愛知	萬茂商店ヨリ購入
同	一	東京	林九兵衛ヨリ購入
同	一	大阪	田中合名會社ヨリ購入
陶器	一	鹿兒島	慶田政太郎ヨリ購入
同	一三	京都	松風嘉定ヨリ購入
繭類絲類竝ニ眞綿	一〇	東京	蠶業講習所ヨリ寄贈
麥稈及經木眞田見本	三	兵庫	野澤雄治ヨリ寄贈

錄事

標本貸與　同月中標本ヲ貸與セルハ左ノ如シ

貸與先	品種	點數	目的
埼玉縣	外國產織物	一九	入間郡織物品評會參考用
鳥取縣物產陳列場	裝綱見本類	一八	當業者參考用
福島縣安達郡木幡村	外國產織物及誘蟲燈	一三	蠶業講習會參考用
千葉縣旭町發明工藝品展覽會	內外產陶器織物類	二六	展覽會參考用
東京府	外國產更紗見本	一	當業者參考用

○補助金交付　青森縣水產試驗場ニ輕便冷藏庫ノ改造ヲ命シ產業講習費國庫補助法ニ依リ其ノ費用ヲ補助スルタメ明治四十二年度ニ於テ特ニ金百六十圓ヲ增加交付スヘキ旨本月十九日指令セリ（農商務省）

○產業組合聯合會模範定款（本月十九日ノ續）

(四)保證責任何々生產組合聯合會定款

第一章　總則

第一條　本會ハ所屬組合カ其ノ組合員ニ使用セシムル物ヲ所屬組合ニ貸付スルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ保證責任何々生產組合聯合會ト稱ス

第三條　本會ノ組織ハ保證責任トス

第四條　本會ノ區域ハ何縣何郡、何郡及何郡ノ三郡トス

第五條　本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條　所屬組合ハ本會ノ區域內ニ主タル事務所ヲ有スル生產組合又ハ生產組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條　本會ノ財產ニ付所屬組合ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第八條　產業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ揭ケタル事項竝所屬組合ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ每月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章　出資及積立金

第九條　出資一口ノ金額ハ金三百圓トス

第十條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金百圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付每年二月末迄ニ金五十圓宛拂込ムモノトス

第十一條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徵收ス

第十二條　產業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲スヘキ產業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ每年十二月三十一日ニ之ヲ取纏メテ其ノ後二週間內ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條　本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條　加入金、過怠金、第四十六條ノ規定ニ依リ拂戾ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戾ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十五條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條　特別積立金ハ損失塡補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條　準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章　機關

第十八條　本會ニ理事三名監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選擧ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ每年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事カ必要ト認メタルトキ

二　監事カ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ

三　所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條　總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條　所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條　總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條　理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條　本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術ニ關スル事務ニ從事ス

第三十條　本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章　事業ノ執行

第三十一條　本會ノ事業年度ハ每年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

（一六）

第三十二條　本會ハ種畜、孵卵器其ノ他總會ノ承認ヲ經タル物品ヲ備フルモノトス

第三十三條　所屬組合カ前條ノ物品ヲ借受ケ之ヲ組合員ニ使用セシメムトスルトキハ借入ノ期日及期間ヲ申込書ニ記載シ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ貸付ノ期日及期間ヲ定メ之ヲ組合ニ通知スルコトヲ要ス

第三十四條　所屬組合カ第三十二條ノ物品ヲ借受ケタルトキハ總會ニ於テ定メタル使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

使用中物品ヲ損壞若ハ傷害シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定メタル辨償金ヲ差出スコトヲ要ス

第三十五條　前條ノ使用料ハ其ノ使用ヲ終リタルトキ辨償金ハ理事カ辨償ノ請求ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二週間內ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ二ニ當タル過怠金ヲ徵收ス

第三十六條　本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ルルコトヲ得ス

第三十七條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分竝損失ノ塡補及分擔

第三十八條　剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第三十九條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十條　各所屬組合ノ保證金額ハ出資一口ニ付金三百圓トス

第四十一條　本會ノ財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脫退シタル組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章　加入及脫退

第四十二條　本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金二圓及左ニ揭クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一　定款ノ謄本

二　最近ニ作成シタル貸借對照表

三　產業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日竝理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第四十三條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十三條　持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　所屬組合カ脫退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十五條　所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一　出資ノ拂込、過怠金ノ納付、使用料又ハ第三十四條第二項ノ辨償金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月內ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二　借受物品ヲ組合員外ノ者ニ轉貸又ハ使用セシメタルトキ

三　借受物品ノ返還ヲ怠リタルトキ

四　本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

五　信用ヲ失ヒタルトキ

第四十六條　所屬組合脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戾ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス

前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戾ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章　解散

第四十七條　本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章　附則

第四十八條　本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事　何　某
理事　何　某
理事　何　某
監事　何　某
監事　何　某

（完）

（一七）

○通運

○船燈類請賣認可　遞信省ニ於テ船燈信號器救命具取締規則ニ依リ請賣ヲ認可セシ者左ノ如シ（遞信省）

品名種類	製造人住所氏名
甲種檣燈第一號乃至第五號、甲種舷燈第一號乃至第五號、乙種檣燈第一號乃至第三號、乙種舷燈第一號第二號、甲種兩色燈第一號、乙種兩色燈第一號乃至第七號、乙第一號乃至乙第四號、碇泊燈第一號乃至第七號甲第二號甲第三號、楫檣船用白燈甲第一號甲第二號船尾燈第一號、第二號、信號用紅燈第二號第三號、機械製霧中號角第一號	大阪市北區富島町三百五番屋敷　衣笠幸七
碇泊燈第一號	同　衣笠船燈合資會社
甲種舷燈第一號第二號、乙種舷燈第一號、乙種兩色燈第一號第二號、碇泊燈第一號乃至第三號、楫檣船用白燈第二號、信號用紅燈第一號、機械製霧中號角第一號	同市西區南堀江一番町百六番邸　藤本正盛
甲種檣燈第一號第二號、甲種舷燈第一號乃至第三號、乙種檣燈第一號、乙種舷燈第一號、甲種兩色燈第一號、碇泊燈第五號、船尾燈第一號第二號、楫檣船用白燈第一號、信號用紅燈第一號、機械製霧中號角乙種兩色燈第一號第二號	同市北區安治川通南二丁目二百九十三番屋敷　丹羽國藏
甲種舷燈第一號第二號、乙種檣燈、乙種舷燈、乙種兩色燈、同第二號第三號、碇泊燈第一號乃至第五號、船尾燈第一號、楫檣船用白燈、信號用紅燈第一號機械製霧中號角	同市西區北堀江三番町二番邸　奧井又藏
甲種舷燈第一號、乙種舷燈第一號、乙種兩色燈、楫檣船用白燈第一號、信號用紅燈第一號、碇泊燈第一號乃至第三號、機械製霧中號角第一號第二號	同市北區安治川通南二丁目百二十三番屋敷　衣笠清吉
甲種檣燈第一號、甲種舷燈第一號、乙種兩色燈第一號、碇泊燈第一號乃至第三號、船尾燈第一號、信號用紅燈第一號、機械製霧中號角第一號	同市西區本田通一丁目番外二十番屋敷　森田龜吉
甲種舷燈第一號、乙種舷燈第一號、乙種兩色燈第一號第二號、碇泊燈第一號乃至第五號、楫檣船用白燈第一號信號用紅燈第一號第二號、機械製霧中號角第一號	岡山縣邑久郡牛窓町二千八百九十番地　吉田勘次郎
碇泊燈第一號乃至第三號	大阪市北區安治川通南二丁目五十三番地　中村悅二郎
甲種舷燈第一號第二號、乙種舷燈、乙種兩色燈第一號第二號、碇泊燈第一號第二號、楫檣船用白燈第一號、信號用紅燈第一號	名古屋市熱田須賀町八十二番戶　伊藤德治郎
甲種舷燈第一號第二號、乙種兩色燈第一號、碇泊燈第一號、楫檣船用白燈第一號	神戶市兵庫大開通三丁目三番屋敷ノ一　粟賀常次郎
救命浮環第一號、救命浮帶第一號	大阪市西區九條町二十二番地　救命具合資會社

以上四十三年三月八日　證書交付、證書番號五八

四、請賣人大阪市北區安治川通南三丁目十四番地大野猪之吉

第 8022 号 本文

○衛生

○傳染病患者及死亡者數 去月十六日ヨリ同二十日ニ至ル赤痢、腸窒扶私、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ △印ハ報告未着(內務省)

道府縣		赤痢 患者	赤痢 死者	赤痢 本年初發以來ノ累計 患者	赤痢 本年初發以來ノ累計 死者	腸窒扶私 患者	腸窒扶私 死者	腸窒扶私 本年初發以來ノ累計 患者	腸窒扶私 本年初發以來ノ累計 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	痘瘡 本年初發以來ノ累計 患者	痘瘡 本年初發以來ノ累計 死者
北海道	區	—	—	—	—	二	—	一三	二	—	—	—	—
北海道	郡	—	—	二	—	六	一	四八	五	—	—	二	—
東京	市	二	—	一三	二	二八	一	二三六	三三	—	—	—	—
東京	郡	—	—	一	—	三	二	六〇	一二	—	—	—	—
京都	市	—	—	二	—	四	—	四三	一四	—	—	—	—
京都	郡	—	—	—	二	—	—	一〇	五	—	—	—	—
大阪	市	一	—	六	一	三	四	四五	一四	—	—	—	—
大阪	郡	—	—	一	—	四	三	三一	九	—	—	—	—
神奈川	市	—	—	二	一	二	—	一四	四	—	—	—	—
神奈川	郡	—	—	二	—	一	—	一五	二	—	—	—	—
兵庫	市	—	—	一	一	一	—	一〇	—	—	—	—	—
兵庫	郡	—	—	二	一	—	—	二四	三	—	—	—	—
長崎	市	—	—	一	—	—	—	七	二	—	—	—	—
長崎	郡	—	—	五	一	一	三	三八	五	—	—	—	—
新潟	市	—	—	—	—	一	—	七	—	—	—	—	—
新潟	郡	—	—	—	—	一	—	四四	一〇	—	—	—	—
埼玉	郡	二	—	三	—	二	一	四三	二〇	—	—	—	—
群馬	市	—	—	一	—	—	—	六	一	—	—	—	—
群馬	郡	—	—	—	—	二	—	二九	六	—	—	—	—
千葉	郡	—	—	一	—	—	三	一七	五	—	—	—	—
茨城	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	郡	—	—	—	—	一	二	二六	一〇	—	—	—	—
栃木	市	—	—	—	—	二	—	五	—	—	—	—	—
栃木	郡	—	—	—	—	二	三	六五	二一	—	—	—	—
奈良	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良	郡	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—
三重	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	郡	—	—	—	—	一	一	五	二	—	—	—	—
愛知	市	—	—	—	—	—	—	一九	二	—	—	—	—
愛知	郡	—	—	二	—	二	一	三六	一一	—	—	—	—
靜岡	市	—	—	—	—	五	—	二〇	一	—	—	—	—
靜岡	郡	—	—	—	—	—	—	三七	八	—	—	—	—
山梨	市	—	—	—	—	二	—	一四	四	—	—	—	—
山梨	郡	—	—	—	—	—	—	一四	四	—	—	—	—
滋賀	市	—	—	—	—	—	—	一一	二	—	—	—	—
滋賀	郡	—	—	—	—	—	一	一五	三	—	—	—	—
岐阜	市	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
岐阜	郡	—	—	—	—	一	—	五	一	—	—	—	—
長野	市	—	—	—	—	二	—	五	一	—	—	—	—
長野	郡	—	—	—	—	六	一	六六	一七	—	—	—	—
宮城	市	—	—	—	—	—	一	一三	三	—	—	—	—
宮城	郡	—	—	—	—	六	二	七二	一六	—	—	—	—
福島	市	—	—	—	—	二	一	一四	—	—	—	—	—
福島	郡	—	—	一	二	三五	七	二六二	三五	—	—	—	—
岩手	市	—	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—
岩手	郡	—	—	二	—	—	—	六七	一〇	—	—	—	—
青森	市	—	—	—	—	一	—	三	一	—	—	—	—
青森	郡	—	一	二	二	五	二	二二	五	—	—	—	—
山形	市	—	—	—	—	二	—	二三	二	—	—	—	—
山形	郡	—	—	—	—	一〇	二	六四	一七	—	—	—	—
秋田	市	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
秋田	郡	—	—	—	—	四	二	五四	一一	—	—	—	—
福井	市	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—
福井	郡	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
石川	市	—	—	二	一	—	—	三	一	—	—	—	—
石川	郡	—	—	—	—	—	—	三	一	—	—	—	—
富山	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	郡	—	—	—	—	—	—	五	二	—	—	—	—
鳥取	市	—	—	—	—	—	—	四	—	—	—	—	—
鳥取	郡	—	—	—	—	—	—	六六	八	—	—	—	—
島根	市	—	—	—	—	—	—	三	一	—	—	—	—
島根	郡	—	—	—	—	一	二	五八	一五	—	—	—	—
岡山	市	—	—	—	—	—	—	六	—	—	—	—	—
岡山	郡	—	—	—	—	—	—	二四	九	—	—	—	—
廣島	市	—	—	—	—	一	—	二	一	—	—	—	—
廣島	郡	—	—	—	—	一	一	七	四	—	—	—	—
山口	市	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
山口	郡	—	—	四	一	—	—	二五	五	—	—	—	—
和歌山	市	一	—	一	—	—	—	七	一	—	—	—	—
和歌山	郡	—	—	—	—	—	—	七	二	—	—	—	—
德島	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
德島	郡	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香川	市	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香川	郡	—	—	四	—	—	—	五	一	—	—	—	—
愛媛	市	—	—	—	—	—	—	二二	二	—	—	—	—
愛媛	郡	—	—	—	—	—	—	九	—	—	—	—	—
高知	市	—	—	—	—	—	—	八	—	—	—	—	—
高知	郡	—	—	—	—	一	—	一二	一	—	—	—	—
福岡	市	—	—	—	—	一	—	二三	五	—	—	—	—
福岡	郡	五	一	九	三	一三	二	九八	二〇	—	—	四	—
大分	郡	—	—	—	—	二	一	二三	五	—	—	—	—
佐賀	市	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
佐賀	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	市	—	—	二	二	—	—	三	一	—	—	—	—
熊本	郡	—	—	四	一	三	一	二〇	六	—	—	一	—
宮崎	郡	—	—	—	—	—	—	四	—	—	—	—	—
鹿兒島	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿兒島	郡	—	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—
沖繩	區	—	—	—	—	—	—	一	一	—	—	—	—
沖繩	郡	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
合計		一二	二	八〇	二四	一七三	五一	二、一三五	四三四	—	—	七	—
前年比較		六	一	六四	二〇	一四九	三五	一、六七〇	三六〇	一	一	一九	七

正誤

去月十六日本欄勳等功級及從軍記章褫奪ノ項中二八〇頁一段木村豐太郎ノ褫奪年月日(四三、三、七)ハ(四三、二、七)ノ報告誤

賞勳局書記官

○帝國議會

○貴族院

○會議 昨二十三日ノ議事(議事日程第十九號)經過左ノ如シ

請願委員長報告

右委員長田中芳男委員會ニ於ケル請願審査ノ報告ヲ爲ス

鐵道營業法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

鐵道營業法中改正法律案ハ委員長伯爵中川久任、臺灣銀行法中改正法律案ハ委員長伯爵正親町實正各、委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案孰モ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決ス

軍人恩給法中改正法律案(衆議院提出)

官吏恩給法中改正法律案(衆議院提出)

右兩案ハ之ヲ束ネテ委員長男爵野田豁通委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ兩案共ニ之ヲ可決ス

質屋取締法中改正法律案(衆議院提出)

右議案ハ委員長子爵本莊壽巨委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決ス

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ之カ第一讀會ノ續ヲ開キ委員長男爵波多野敬直委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(衆議院提出)

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ之カ第一讀會ノ續ヲ開キ委員長伯爵中川久任委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ之カ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決ス

明治四十一年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

右六件ハ議事日程ヲ變更シテ之カ會議ヲ開キ委員長伯爵德川達孝之ヲ束ネテ委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ全部承諾スルコトヲ議決ス

衆議院議員選擧法中改正法律案(衆議院提出衆第一號)

衆議院議員選擧法中改正法律案(衆議院提出衆第九號)

右兩案ハ之ヲ束ネテ副委員長岡野敬次郎委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ兩案ヲ各別ニ議題トシ前案(衆第一號)ハ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決シ後案(衆第九號)ハ之カ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決ス

狩獵法中改正法律案(衆議院提出)

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ之カ第一讀會ノ續ヲ開キ委員長伯爵川村鐵太郎委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ之カ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決ス

輸入魚油及鯨油免税ニ關スル請願
內國產煉乳事業奬勵ノ請願
煙草葉數査定撤廢ニ關スル請願
地租輕減ノ請願
混砂白米禁止ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
賣藥納税者ニ權利附與ノ請願
飛越鐵道急設ノ請願
孝經ヲ教科書中ニ採納ノ請願
官設電信開始ノ請願
鐵道線路測量ノ請願
畑地價特別修正ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
釀造試驗所增設ニ關スル請願
酒造税法改正ニ關スル請願
郵便局設置ノ請願
郵便局設置ノ請願
多度神社昇格ニ關スル請願
膽振鐵道ヲ黒松內驛ニ連絡ノ請願
石狩鐵函間鐵道敷設ノ請願
柞蠶絲輸入税全廢ニ關スル請願
北海道日高海岸鐵道敷設ノ請願
小坂鑛山鑛煙毒ニ關スル請願
追分船川間鐵道急設ノ請願
羽越鐵道速成ノ請願
在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願
三等郵便局設置ノ請願
鐵道速成ニ關スル請願
庄內川改修ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
湖西鐵道敷設ノ請願
宅地組換ノ請願
日本海横斷航海事業ノ補助ニ關スル請願
郵便局設置ニ關スル請願
郵便局新設ノ請願
札幌區ニ醫學專門學校ヲ設立スルノ請願
漁港及避難港修築補助法制定ノ請願
水產會法制定ノ請願
鐵道敷設ノ請願
郵便局設置ニ關スル請願
横手黒澤尻間鐵道速成ノ請願
牛乳營業取締ノ請願
鐵道敷設ニ關スル請願
伊丹區裁判所裁判事務復舊竝管轄區域變更ノ請願

右四十四件ノ請願ハ總テ之ヲ採擇スルコトヲ議決ス

第8022号 本文

○國務大臣出席　桂內閣總理大臣兼大藏大臣、寺內陸軍大臣、小村外務大臣、平田內務大臣、大浦農商務大臣、後藤遞信大臣、小松原文部大臣、岡部司法大臣ハ昨二十三日ノ會議ニ出席セリ

○議案奏上及通知　昨二十三日可決シタル左ノ議案ハ卽日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

鐵道營業法中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案
外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案
軍人恩給法中改正法律案
官吏恩給法中改正法律案
質屋取締法中改正法律案
衆議院議員選擧法中改正法律案

又同日承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ卽日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治四十一年度豫備金支出ノ件
明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件
明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件

又同日本院ハ左ノ衆議院提出案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案
衆議院議員選擧法中改正法律案
狩獵法中改正法律案

○議案提出　昨二十三日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案

○請願書送付　左ノ請願ハ各意見書ヲ附シ昨二十三日之ヲ政府ニ送付セリ

郵便局再設ノ請願
地租輕減及宅地地價修正ノ請願
宅地地價修正ニ關スル請願
營業稅法中改正法律案ニ關スル請願
砂糖消費稅法中改正ノ請願
宅地地價修正ニ關スル請願
地租輕減ノ請願
柞蠶絲輸入稅全廢ニ關スル請願
區裁判所出張所設置ノ請願
南極探險ニ要スル經費下付ノ請願
印紙稅法ニ關スル請願
宅地他價修正ノ請願
度量衡法施行令中改正ノ請願
地價修正ニ關スル請願
新城區裁判所事務開始ノ請願
膽振鐵道速成ニ關スル請願
農會法中改正ノ請願
中央農會法制定ノ請願
郵便局設置ノ請願
山陰縱橫貫鐵道連絡線速成ニ關スル請願
區裁判所出張所設置ノ請願
郵便局設置ノ請願
滿洲金融機關特設ノ請願

以上本月十七日採擇スルコトヲ議決シタルモノ

四國貫通鐵道速成ノ請願
鹽田地租輕減ノ請願
內國產粗糖ニ對シ補助金下付ニ關スル請願
市町村立小學校敎員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ請願
熊本大分間鐵道速成ノ請願
八代鹿兒島間鐵道速成ノ請願
煙草專賣法中改正ノ請願
山陰縱貫鐵道速成ノ請願
地租輕減ノ請願
小學校敎員官設鐵道無賃乘車ノ請願
關稅免除ノ請願
室蘭港港灣修築ニ關スル請願
膽振日高金山三鐵道速成ニ關スル請願
齒科醫學校設置ニ關スル請願
鐵道敷設速成ノ請願
衆議院議員選擧法改正ノ請願
北海道東南部鐵道完成ニ關スル請願
青森港灣修築ノ請願
飛驒國貫通鐵道速成ノ請願
韓國移民法制定ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
鐵道速成ノ請願
復族ノ請願
神社祭典ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
區裁判所出張所設備ノ請願
豐肥鐵道速成ニ關スル請願
日豐鐵道速成ニ關スル請願
山陽大嶺支線延長ノ請願
工業原料柞蠶絲輸入免稅ノ請願
官設鐵道敷設ノ請願
郵便局設置ノ請願
種牛場增設ノ請願
關稅定率改正ノ請願
黑澤尻橫手間鐵道速成ノ請願
區裁判所出張所設置ニ關スル請願
鐵道敷設ニ關スル請願
大船渡花卷間鐵道速成ノ請願
宅地地價特別修正ノ請願
金山早來間鐵道速成ノ請願
鐵道敷設法ニ關スル請願
亞炭鑛業稅減額ノ請願

以上一昨二十二日採擇スルコトヲ議決シタルモノ

輸入魚油及鯨油免稅ニ關スル請願
內國產煉乳事業奬勵ノ請願
煙草葉數查定撤廢ニ關スル請願
地租輕減ノ請願
混砂白米禁止ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
賣藥納稅者ニ權利附與ノ請願
飛越鐵道急設ノ請願
官設電信開始ノ請願
孝經ヲ敎科書中ニ採納ノ請願
鐵道線路測量ノ請願
畑地價特別修正ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
釀造試驗所增設ニ關スル請願
酒造稅法改正ニ關スル請願
郵便局設置ノ請願
郵便局設置ノ請願
多度神社昇格ニ關スル請願
膽振鐵道ヲ黑松內驛ニ連絡ノ請願
石狩鐵函間鐵道敷設ノ請願
柞蠶絲輸入稅全廢ニ關スル請願
北海道日高海岸鐵道敷設ノ請願

小坂鑛山鑛煙毒ニ關スル請願
追分船川間鐵道急設ノ請願
羽越鐵道速成ノ請願
在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願
三等郵便局設置ノ請願
鐵道速成ニ關スル請願
庄內川改修ニ關スル請願
鐵道敷設ノ請願
湖西鐵道敷設ノ請願
宅地組換ノ請願
日本海橫斷航海事業ノ補助ニ關スル請願
郵便局設置ニ關スル請願
郵便局新設ノ請願
札幌區ニ醫學專門學校ヲ設立スルノ請願
漁港及避難港修築補助法制定ノ請願
水產會法制定ノ請願
鐵道敷設ノ請願
郵便局設置ニ關スル請願
橫手黑澤尻間鐵道速成ノ請願
牛乳營業取締ノ請願
鐵道敷設ニ關スル請願
伊丹區裁判所裁判事務復舊竝管轄區域變更ノ請願

以上昨二十三日採擇スルコトヲ議決シタルモノ

○通牒受領　昨二十三日衆議院ヨリ左ノ成案ヲ否決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

電氣事業法案兩院協議會成案

○報告書提出　昨二十三日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案可決報告書
狩獵法中改正法律案否決報告書
明治四十一年度豫備金支出ノ件
明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件
明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件
明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)議決報告書
明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案修正報告書

又同日兩院協議委員議長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

電氣事業法案兩院協議會成案成立ノ報告書(兩院協議會成案ヲ具ス)

○委員長副委員長互選　昨二十三日特別委員ニ於テ委員長副委員長ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

狩獵法中改正法律案
委員長　伯爵　川村鐵太郎　副委員長　子爵　伊集院兼知
蠶病豫防法中改正法律案
委員長　伯爵　柳原義光　副委員長　子爵　松平直敬

○書類配付　昨二十三日左ノ書類ヲ配付(文書函ニ投入)セリ

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案特別委員長報告書

○閉院式通牒受領　昨二十三日桂內閣總理大臣ヨリ今二十四日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候旨ノ通牒ヲ受領セリ

○衆議院

○會議　昨二十三日ノ議事經過左ノ如シ

民事訴訟法中改正法律案(高木益太郎外四名提出)
右議案ハ第二讀會ヲ開カサルニ決ス
衆議院議員選擧法中改正法律案(東武外五名提出)
右議案ハ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決ス
漁港開築ニ關スル建議案(三浦覺一外二名提出)
山陰山陽橫斷線速成ニ關スル建議案(福井三郎外三名提出)
右兩案ハ孰モ之ヲ可決ス
鐵道建設ニ關スル建議案(長晴登外七名提出)
上越鐵道敷設ニ關スル建議案(根岸碩太郎外三名提出)
鐵道建設ニ關スル建議案(吉田虎之助外二名提出)
鐵道建設ニ關スル建議案(千田軍之助外六名提出)
右四案ハ一括シテ院議ニ付シ院議其第一、第二ノ兩案ハ之ヲ可決シ第三、第四ノ兩案ハ修正議決ヲ爲ス
高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(渡邊千冬提出)
右議案ハ之ヲ可決ス
(特別報告第八十三號)分村ニ關スル請願
(特別報告第七十三號)家祿渡不足下渡ノ請願
(特別報告第七十四號)汽船「トロール」漁業禁止ノ請願
(特別報告第七十五號)刑ノ執行猶豫ニ關スル請願
(特別報告第七十六號)故北白川宮殿下神社創建ノ請願
(特別報告第七十七號)多度神社昇格ノ請願
(特別報告第八十六號)天石門別神社昇格ノ請願
(特別報告第七十八號)郵便局設置ノ請願
(特別報告第七十九號)郵便局新設ノ請願
(特別報告第八十號)郵便局設置ノ請願
(特別報告第八十一號)郵便局設置ノ請願
(特別報告第八十二號)郵便局設置ノ請願
(特別報告第八十五號)郵便局設置ノ請願
(特別報告第八十七號)南院內郵便局設置ノ請願
(特別報告第八十八號)明治郵便局設置ノ請願
右各請願ハ孰モ採擇スヘキモノト決ス

第8022号 本文

緊急勅令ニ關スル決議案（鳩山和夫外四名提出）

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議各國務大臣ノ出席ヲ要求シ次テ之ヲ可決ス

電氣事業法案（兩院協議會成案）

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議之ヲ否決ス

（特別報告第八十四號）稅務署位置變更ノ請願

（特別報告第八十五號）綴錦課稅免除ノ請願

右兩請願ハ孰モ採擇スヘキモノト決ス

○國務大臣出席　桂內閣總理大臣兼大藏大臣、小村外務大臣、平田內務大臣、寺內陸軍大臣、岡部司法大臣、小松原文部大臣、大浦農商務大臣、後藤遞信大臣ハ昨二十三日ノ會議ニ出席セリ

○議案委上及通知　昨二十三日否決シタル左ノ政府提出案ハ卽日更ニ廟議ヲ盡サレンコトヲ委請シ同時ニ同案兩院協議會成案否決ノ旨ヲ貴族院ニ通知セリ

電氣事業法案

○議案送付　昨二十三日左ノ本院提出案ヲ貴族院ニ送付セリ

衆議院議員選擧法中改正法律案

○議案提出　昨二十三日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

緊急勅令ニ關スル決議案（鳩山和夫外四名）

○議案通牒受領　昨二十三日貴族院ニ於テ鐵道營業法中改正法律案、臺灣銀行法中改正法律案、簞入恩給法中改正法律案、官吏恩給法中改正法律案、質屋取締法中改正法律案、外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案、衆議院議員選擧法中改正法律案（衆第二號）ヲ可決シ明治四十一年度豫備金支出ノ件、明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、明治四十一年度淸國事件第二豫備金支出ノ件、明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件、明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件ニ對シテハ承諾スルコトヲ議決シ明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、衆議院議員選擧法中改正法律案（衆第九號）、狩獵法中改正法律案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

○建議書送付　昨二十三日左ノ建議書ヲ政府ニ送付セリ

漁港開築ニ關スル建議書

山陰山陽橫斷線速成ニ關スル建議書

鐵道建設ニ關スル建議書

上越鐵道敷設ニ關スル建議書

鐵道建設ニ關スル建議書

鐵道建設ニ關スル建議書

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議書

○請願書送付　昨二十三日左ノ請願書ニ本院ノ意見ヲ附シ政府ニ送付セリ

天石門別神社昇格ノ請願	一通
郵便局設置ノ請願	五
郵便局新設ノ請願	一
南院內郵便局設置ノ請願	一
明治郵便局設置ノ請願	一
稅務署位置變更ノ請願	一
綴錦課稅免除ノ請願	一
分村ニ關スル請願	一
家祿渡不足下渡ノ請願	一
汽船「トロール」漁業禁止ノ請願	一
刑ノ執行猶豫ニ關スル請願	一
故北白川宮殿下神社創建ノ請願	一
多度神社昇格ノ請願	一

○答辯書受領　本月十九日及昨二十三日政府ヨリ左ノ答辯書ヲ受領セリ

不敬流言ニ關スル件（平田內務大臣）

國有土地森林原野下戾法ニ關スル件（大浦農商務大臣）

新聞社行賞ニ關スル再質問ノ件（桂內閣總理大臣）

神社合祀ニ關スル再質問ノ件（平田內務大臣）

糖業政策ニ關スル再質問ノ件（桂大藏大臣、平田內務大臣、大浦農商務大臣）

四國ノ交通機關ニ關スル件（桂內閣總理大臣、平田內務大臣）

廣島電氣軌道特許ニ關スル件（桂內閣總理大臣、平田內務大臣）

日本及日本人三月十五日發行第五百二十九號發賣頒布禁止ニ關スル件（平田內務大臣）

○閉會式通牒受領　昨二十三日桂內閣總理大臣ヨリ今二十四日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候旨ノ通牒ヲ受領セリ

○在外公館報告

○遼河解氷狀況　遼河ニ於ケル解氷狀況ニ付キ牛莊駐在領事太田喜平ヨリ本月十四日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月二十二日本欄內參看）（外務省）

昨年遼河解氷當港ニ始テ汽船ノ入港ヲ見タルハ當月二十五日午後一時ナリシモ現在ノ模樣ニ依リ本年ノ開河期ヲ豫想スルニ本月六日當地淸國河巡隊ニ於テ氷上車馬ノ通行ヲ禁止セシ以後逐日解氷ノ度ヲ增シ來リシカ本日午前八時五十分ノ滿潮ニ依リ多少ノ龜裂ヲ生シ乘客運搬用舢板（支那形艀）ノ數モ漸次減少シツヽアレハ査スルニ本年汽船ノ初入港ハ本月二十八日及二十九日ノ高潮ノ兩三日以後ナルヘキ豫想ナリ尤モ今後南風吹キ續ケハ豫想以上數日ノ早キヲ見ルヘシ

○上海綿花及綿絲市況　上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事有吉明ヨリ本月二十一日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月十五日本欄內參看）（外務省）

綿花市況先週中紡績筋ハ買控ヘタレトモ日本筋ヨリ小口ナカラニ望取アリシト地元筒同依然稀薄ナリシタメ相場ハ尙ホモ上向ニテ通州物三〇、〇〇ニ昂騰スルヤモ計ラレス通州器械上等二九、四〇本邦綿手合四、〇〇〇在荷一七、五八四北淸及川筋需要一時ニ高ミタルモ多少投機的ノモノナランカ藍魚十六手一二〇兩、寨比須二十手一二二兩五〇、印度綿手合三、九一四在荷四六、一五五北淸及四川筋ニ四、五、六月物ノ注文多シ大番二十手一一八兩五〇

○觀象

○全國氣象

三月十五日

區	觀測所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 十二時間	天氣
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○天氣概況　稍く深厚ナル低氣壓ハ韓國城津附近ニ在リ而シテ樺太南部ニハ他ノ低氣壓ノ東ニ向ヒ進行スルモノアリ琉球列島ノ北方ニモ亦一小低氣壓存在ス本邦西部及北部ニテハ氣壓著シク下降シ本州西部ニテハ氣壓傾斜頗ル急峻ト爲レリ

本州東部ハ概シテ晴天ノ處多シト雖モ其他ハ殆ト總テ曇天ニシテ九州、四國及中國ハ一帶ニ雨天ト爲リ樺太島及韓國モ亦雨天ノ處多シ全國概シテ南ノ風吹キ九州及日本海沿岸ニテハ風力强ク强風ニ達シタル處多シ氣溫ハ昨朝ニ比シ概ネ下降シ平年ニ比スレハ著シク高シ

○低氣壓概報

鹿兒島暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

十四日午後二時　颶風ノ中心ハ沖繩附近ニ在リ其示度七百六十四粍ニシテ北東ニ向ヒテ進行ス其速度每時二十粁

十五日午前六時　颶風ノ中心ハ沖繩附近ニ在リ其示度七百六十粍ニシテ北東ニ向ヒテ進行ス其速度每時二十粁

下關、境、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、小樽、函館、釧路暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

十五日午前六時　颶風ノ中心ハ韓國北東海岸ニ在リ其示度七百五十粍ニシテ東ニ向ヒテ進行ス其速度每時二十粁

唐津、下關、仁川、大連暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

十四日午後四時　暴風雨標オロセ

三月十六日

區	觀測所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 十二時間	天氣
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第8022号　本文

地名	觀測値	天氣
十帯	[illegible]	快晴
網走	[illegible]	雪
釧路	[illegible]	晴
根室	[illegible]	快晴
妙那	[illegible]	快晴
大泊	[illegible]	曇
眞岡	[illegible]	雪
鹿香	[illegible]	雪
釜山	[illegible]	曇
木浦	[illegible]	曇
仁川	[illegible]	晴
平壤	[illegible]	快晴
元山	[illegible]	快晴
城津	[illegible]	快晴
旅順	[illegible]	快晴
大連	[illegible]	快晴
營口	[illegible]	快晴
奉天	[illegible]	快晴
長春	[illegible]	快晴
天津	[illegible]	快晴
芝罘	[illegible]	晴
青島	[illegible]	雨
上海	[illegible]	霧
厦門	[illegible]	曇
福州	[illegible]	晴
杭州	[illegible]	曇
南京	[illegible]	曇
漢口	[illegible]	曇
沙市	[illegible]	晴

○天氣概況　昨日日本海ニ在リシ兩低氣壓ハ北東ニ向ヒテ急速ニ進行シ昨夜北海道ヲ横キリオホーツク海ニ入リ目下千島南部ニ存在ス又本邦南東海岸ニハ副低氣壓ノ發生セシモノアリ東方ニ向ヒテ進行ス而シテ亞細亞大陸ノ高氣壓ハ急速ニ發達シ北清ニ於テハ氣壓七百七十粍以上ニ及ヘリ是ヲ以テ氣層傾斜ハ概シテ急峻ニシテ殊ニ北海道北部ニ於テ甚シ全國北乃至北西ノ風吹キ本邦北部ノ海岸ニテハ風力烈風以上ニ及ヘリ又昨日本邦南東海岸ニテハ南ノ風頗ル強ク風速烈風ニ及ヘリ天候ハ一先ツ回復シ大平洋岸ニテハ快晴ニシテ日本海岸ニテハ曇天ト爲リ北海道西部ニテハ降雪ス琉球及臺灣ニテハ天氣晴朗ニシテ滿韓地方ニテハ天空拭フカ如ク一點ノ雲ヲ見ス

○低氣壓概報

三〇、二月二十四日―二十六日揚子江上流ヨリ來リシ大陸低氣壓　二十四日揚子江ノ上流域ニ顯レ東方ニ進行シ二十五日東海ニ入リ對馬水道ヲ經テ二十六日本邦西海岸ニ沿ヒテ進ミ東北地方ヲ横キリ大平洋ニ去ル　最低氣壓　七百四十八粍

三一、二月二十六日內海東部ニ發生セシ副低氣壓　二十六日淡路附近ニ發生シ東ニ進ミ銚子附近ヨリ大平洋ニ去ル　最低氣壓　七百四十九粍

鹿兒島、唐津、下關、境、舞鶴、新潟、伏木、敦賀、小樽、函館、青森、釧路暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

十五日午後二時　颶風ノ中心ハ能登半島ノ沖ニ在リ其示度七百五十粍ニシテ北東ニ向ヒテ進行ス其速度毎時二十粁

十六日午前九時　暴風雨標オロセ

○全國天氣豫報

自三月二十三日午後六時至三月二十四日午後六時二十四時間ノ天氣豫報　二十三日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第二區　北西ノ風、概ネ晴ナレトモ雨模樣ノ處アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第五區　北西ノ風、概ネ晴
第六區　第五區ニ同シ
第七區　第四區ニ同シ
第八區　第五區ニ同シ
第九區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雪模樣アリ
第十區　第五區ニ同シ

○東京地方天氣豫報　北西ノ風、晴

○暴風警報　三月二十三日午前九時二乃至四區ノ警戒ヲ解ク

○東京氣象

三月二十一日

項目		値
氣壓(海面ノ度)	平均	七六二・四粍
氣温	平均	七・三度(平年ニ同シ)
	最高	一一・〇度
	最低	四・五度
濕度	平均	四一・〇%
水蒸氣張力	平均	三・二粍
雲量	平均	九・〇
日照時間		四・八時
風	平均速度	五・六米
	最大速度	九・二米
	最多方向	北西
降水	總量	―粍
	一時間最大量	―粍
蒸發	總量	三・八粍
記事		朝露、月暈顯ル

三月二十二日

項目		値
氣壓(海面ノ度)	平均	七六五・八粍
氣温	平均	二・七度(平年ヨリ四・三度低シ)
	最高	五・三度
	最低	〇・二度
濕度	平均	七六・〇%
水蒸氣張力	平均	四・一粍
雲量	平均	一〇・〇
日照時間		〇・〇時
風	平均速度	三・九米
	最大速度	六・一米
	最多方向	北
降水	總量	一〇・九粍
	一時間最大量	二・二粍
蒸發	總量	―粍
記事		午前八時三十分ヨリ二十二分間微雪同九時五十分ヨリ雨ト變シ午後五時四十五分ヨリ雪ト變シ又同十時二十四分ニ至リ雨ト爲リ翌日ニ亙ル

(以上中央氣象臺)

○廣告

○官報等購求者注意

官報販賣所ヨリ前金ヲ以テ官報法令全書等ヲ購求セラルヽ向ハ當局所定ノ官報法令全書職員錄發賣手續第五項ニ依リ其會計年度ヲ越ユサル範圍ニ於テ三箇月分ヲ限度トシテ拂込マルヘシ若シ三箇月ヲ超過シタル前金ノ拂込ヲ爲シ其超過額ニ對シテ行違ヲ生スルコトアルトキハ購求者ノ責任トス

右豫告ス

明治四十三年三月　印刷局

○免許證再下付

醫師法施行規則第四條ニ依リ本月十八日醫師免許證ノ再下付(事由紛失)ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ免許證ハ無效トス

明治四十三年三月　內務省

登錄番號	族籍	氏名
四九三二	大分縣平民	中西秀藩

○工場財團　大阪區裁判所天滿出張所

大阪市北區天滿橋筋西一丁目二百二十三番屋敷天滿織物株式會社ヨリ左記動產ニ付キ工場財團保存ノ登記申請アリタルニ因リ該動產ニ對シ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ明治四十三年四月二十日マテニ當所ニ其權利ヲ申出ツヘシ

明治四十三年三月十七日

全建物ニ附屬シアル建具

疊建具ノ部

種類／附屬建物	寄宿舍	社宅	工場	計
疊	四四八	四四〇	―	八八八
戸	二三五	二七七	一七二	六八四
障子	二九五	五四五	五五〇	一、三九〇
襖	二	一三八	―	一四〇

機械及器具ノ部

一大阪市北區天滿橋筋西一丁目二三五、二三九、二四〇、二三六ノ一、六六九、同天滿橋筋五丁目六八九ノ一、六八九ノ三、六九一ノ一、七二五、七二六、六八六ノ一、六八九ノ二、六九〇、六九五ノ一、六九六ノ二、六九七、六九八ノ二、七二四、同天滿橋筋西二丁目一九一ノ三、一八九ノ一、市街宅地七千六百七十三坪五合一勺及天滿橋筋西二丁目七三五ノ一原野八步地上ニ建設シアル建物ノ內

番號	種類	構造	箇數又ハ延長	製造所名	製作年月
第一號ノ(イ)瓦葺煉瓦造平家汽罐室工場ノ內					
一	汽罐	「ランカッシャ」形　徑七呎　長三十呎	二	大阪新隈鐵工所	―

番號	種類	構造	箇數又ハ延長	製造所名	製作年月
二	「ドンキーポンプ」	給水用	一	英國製	―
第一號ノ(ロ)瓦葺煉瓦造平家電氣室工場內					
一	「エコノマイザー」	百二十本	一	英國「グリーン」社	―
二	發電用汽關	「コンパンド」高壓八吋底壓十四吋「ストローク」十二吋	一	同「ヂックエンドチャーテ」社	―
三	發電機	三線交流式四十「キロワット」「スヰッチボールドエソ」	一	大阪電燈會社	明治四十年
四	同	直流「エキサイダー」	一	同	―
五	同	直流「スチームターピン」二十五「キロワット」「スヰッチボールド」共	一	米國「ゼネラル」會社	一、九〇七年
六	帶皮	幅十吋半三吋取交セ	五八呎	大阪製	―
七	電線	工場全部點燈用			―
第一號ノ(ハ)經絲通シ場竝ニ「ロープーリー」室工場內					
一	綜絖通機	木製	二	大阪製	―
二	車軸	徑五吋二分ノ一乃至四吋	七〇呎	同	―
三	「ロープ」滑車	徑四十七吋四分ノ三五列	一	同	―
四	同	同六列	一	同	―
五	同	同三列	一	同	―
六	同	同二列	六	同	―
七	同	徑九十六吋二分ノ一七列	二	同	―
八	同	徑五十七吋十六分ノ七四列	一	同	―
九	同	徑四十五吋二分ノ一四列	一	同	―
十	「ロープ」	徑一吋四分ノ一	二十本　一、四六二呎	同	―
第一號ノ(ニ)瓦葺煉瓦造平家糊付室工場內					
一	「スラッシャー」糊付機	「シリンダー」徑　大六十四吋　小四十六吋	一	英國「ウイリヤムヂッキレソン」社	一、八九七年
二	同	同　大七十六吋　小四十二吋	一	同「プラットブロザー」社	一、八九一年
三	同	同　大七十二吋　小四十八吋	一	同	一、九〇七年
四	糊調合函	幅、長サ八呎、深サ四十八吋、木製	三	大阪製	―
五	糊混合機	徑三十一吋、深サ三十三吋、鐵製	一	獨乙製	―
六	滑車	徑九吋四分ノ三乃至二十五吋	七	大阪製	―
七	車軸	徑二吋	四五呎	同	―
八	帶皮	幅二吋乃至四吋二分ノ一	四七二呎	同	―
九	「ロープ」滑車	徑四十五吋八分ノ三四列	一	同	―
十	同	徑三十六吋八分ノ七七列	一	同	―
十一	同	徑三十六吋九列	一	同	―
十二	同	同五列	一	同	―
十三	同	同二列	四	同	―
十四	「ロープ」	徑一吋四分ノ一	二十二本　一、四三二呎	同	―
第一號ノ(ホ)瓦葺煉瓦造平家織機室工場內					
一	織機	幅四十二吋	二三八	英國「バッターウォースヂッキンソン」社	一、九〇八年
二	同	同	二〇七	同「ジョンダクデール」社	一、八九六年
三	同	同	一四	同「バッターウォースヂッキンソン」社	一、九〇六年
四	同	同	四五	同	一、九〇九年
五	同	幅五十吋	一四	同	同
六	織機	同	同	英國「ロバートホール」社	一、九〇九年
七	霧吹機	「ポルテッキス」式	三九	三重鐵工所	明治三十八年
八	霧吹用「ポンプ」	「ウォシン」「ジグトン」(「シリンダー」徑六吋「ストローク」五吋)	一	同	同
九	車軸	一吋八分ノ七乃至三吋八分ノ五	二、五五三呎	大阪製	―
十	滑車	徑十吋乃至十二吋	一四三	同	―
十一	帶皮	幅十二吋	一、五〇〇呎	同	―
十二	暖管	內徑一吋六分乃至三吋	一、三五一呎	同	―
第一號ノ(ヘ)瓦葺煉瓦造平家仕上室工場內					
一	「プレチング、マシン」	幅四十二吋	三	大阪製	明治三十九年
二	「スタンプイング、マシン」	同五十二吋	一	同	―
三	「プラッシング、モーチング、マシン」	同六十二吋	一	英國「ローバートハート」社	―
四	「プラッシング、マシン」	同六十吋	一	同「ステフト」社	―
五	「シェヤリング、マシン」	同四十八吋	一	同「マザープラット」社	―
六	同	同	一	同「シモネット」社	―
七	水壓機	長サ四十八吋幅二十吋	一	同「ダグデル」社	―
八	「ロールカレンダー」	四本「ロール」幅四十二吋	一	同「テイン」社	―
九	水壓荷造機	最大壓力五噸	一	同「ジョンショー」社	―
十	車軸	徑三吋八分ノ七乃至二吋	一三二呎	大阪製	―
十一	滑車	徑七吋乃至三十吋	一八	同	―
十二	帶皮	幅三吋乃至八吋	三二七呎	同	―
十三	「ロープ」滑車	徑二十三吋乃至五十五吋	三	―	
十四	「ロープ」	徑一吋乃至一吋四分ノ一	四本　一六一呎	―	
第二號ノ(ト)瓦葺煉瓦造平家汽關室工場內					
一	汽關	「タンデムコンパンド」高壓「シリンダ」徑十四吋底壓「シリンダ」徑二十六吋「ストローク」三呎	一	英國「ビックハーグリブス」社	―
二	「ロープ」滑車	徑十六呎六列	一	同	―
三	同	徑五十六吋六列	一	大阪製	―
四	同	徑四十五吋七列	一	同	―
五	同	徑九十六吋二分ノ一七列	一	同	―
六	車軸	徑五吋四分ノ一	四八呎	同	―
七	「ロープ」	徑一吋二分ノ一	六本　五一六呎	同	―
八	同	徑一吋四分ノ一	七本　六五八呎	同	―
第二號ノ(チ)瓦葺煉瓦造平家織機室工場內					
一	織機	幅四十二吋	二二四	英國「バッターウォースヂッキンソン」社	一、九〇八年
二	車軸	徑三吋乃至一吋四分ノ三	九九〇呎	同「ビックハーグリブス」社	一、九〇七年
三	滑車	徑十四吋幅十吋	一一二	同	同
四	暖管	徑二吋	五一四呎	大阪製	―

第8022号　本文

五	蒸吹機	「ボルテッキス」式	一六	三重鐵工所	明治四十一年
六	蒸吹用「ポンプ」	「ウォシントン」「シリンダー」徑七吋「ストローク」六吋	一	英國「ワゲナー」會社	一九〇八年
七	「ロープ」滑車	徑二呎八吋乃至三呎五吋	八	同「ビックハーグリーブス」社	—
八	「ロープ」	徑一吋四分ノ一	一、二九三呎	大阪製	—
九	帶皮	幅二吋	五、二〇八呎	同	—

第二號ノ(リ)瓦葺煉瓦造二階建階下仕拵室工場内

一	「ブレーチング、マシン」	幅四十二吋	一	英國「ダグデル」社	—
二	「ワインダーフレーム」	二百錘	二	同「プラットブラザー」社	一八九四年
三	「ワーピングフレーム」	六百「ドラム」用	六	同	一八九一年
四	同	同	七	同「バッターウォースヂッキンソン」社	一九〇八年
五	車軸	徑三吋半乃至二吋四分ノ一	二六七呎	同「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年
六	「ロープ」滑車	徑三呎三吋乃至三呎五吋	三	同	同
七	滑車	徑四吋八分ノ一乃至十四吋	二〇	同	同
八	「ロープ」	徑一吋四分ノ一	三一八呎	大阪製	—
九	帶皮	幅二吋	四〇四呎	同	—

第二號ノ(ヌ)瓦葺煉瓦造平家仕拵室工場内

一	「ワインダーフレーム」	二百二十六錘	四	英國「バッターウォースヂッキンソン」社	一九〇八年
二	車軸	徑三吋四分ノ三	五四呎	同「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年
三	滑車	徑八吋二分ノ一	四	同	同
四	帶皮	幅二吋	九六呎	大阪製	—

第三號ノ(ル)鐵骨亞鉛板張煉瓦造平家汽罐室工場内

一	汽罐	「ランカッシャ」形徑七呎長サ三十呎常用百六十封度壓力	三	英國「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年
二	「エコノマイザー」	百八十本「シリンダー」徑三吋二分ノ一汽機附屬	一	同「グリーン」社	同
三	「ドンキーポンプ」	汽罐給水用	一	同「マンホード」社	同

第三號ノ(オ)瓦葺煉瓦造平家汽關室工場内

一	汽關	「タンデュコンパウンド」高壓「シリンダー」徑十八吋低壓同三十六吋「パーリング、エンジン」附屬	一	英國「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年
二	「ロープ」滑車	徑十六呎十八列	一	同	同
三	同	徑七呎一吋四分ノ一五列	一	同	同
四	同	徑同二十五列	一	同	同
五	同	徑五呎一吋二分ノ一二十三列	一	同	同
六	同	徑四呎三吋四分ノ一十五列	一	同	同
七	同	徑七呎七吋四分ノ一四列	一	同	同
八	「ロープ」	徑一吋八分ノ五	五、八五一呎	大阪製	—

第三號ノ(ワ)瓦葺煉瓦造平家温綿室工場内

一	「ウィロー」		一	英國製	—
二	「ベールブレーカー」「ホッパーピーター」「ラチスピーター」「クライトンオップナー」	幅三十六吋 四種機械連結構造	二	同「プラットブロザー」社	一九〇七年
三	車軸	徑三吋二分ノ一乃至三吋	二四〇呎	同「ビックハーグリーブス」社	同
四	滑車	徑二十七吋乃至八吋	二三	同	同
五	帶皮	幅五吋二分ノ一乃至二吋	三四四呎	大阪製	—
六	「ロープ」滑車	徑十五吋	二	英國「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年

第三號ノ(カ)瓦葺煉瓦造平家打綿室工場内

一	「エキゾーストオップンナー」	幅四十四吋	二	英國「プラットブロザ」社	一九〇七年
二	打綿機(中打)	幅四十二吋	二	同	同
三	同(同)	同	一	同「ドブソン」社	一八九三年
四	同(仕上)	幅四十吋	二	同「プラットブロザ」社	一九〇七年
五	同(同)	幅四十一吋	一	同「ハワード」社	一八九六年
六	「ウエストロービング、オップンナー」		一	同「プラットブロザ」社	一九〇七年
七	車軸	徑三吋二分ノ一乃至三吋	一四三呎	同「ビックハーグリーブス」社	同
八	滑車	徑十吋乃至三十四吋	三三	同	同
九	帶皮	幅二吋乃至五吋二分ノ一	七三〇呎	大阪製	—
十	「ロープ」滑車	徑四呎	二	英國「ビックハーグリーブス」社	一九〇七年
十一	「ロープ」	徑一吋八分ノ五	八七〇呎	大阪製	—

第三號ノ(ヨ)瓦葺煉瓦造平家紡績室工場内

一	梳綿機	幅三十八吋	三三	英國「プラットブロザー」社	一九〇七年
二	同	幅四十一吋	八	同「ドブソン」社	一八九三年
三	同	幅四十吋	八	同「ハッターネバロー」社	一八九六年
四	同	幅三十八吋	二	同「プラットブロザー」社	一八九二年
五	練篠機	二頭六尾	六	同	一九〇七年
六	同	三頭四尾	二	同「ドブソン」社	一八九三年
七	同	三頭七尾	一	同「ハワードバロー」社	一八九六年
八	始紡機	八十六錘	一	同	同
九	同	同	一	同「ドブソン」社	一八九三年
十	同	四十六錘	一	同「プラットブロザー」社	一八八八年
十一	同	七十二錘	四	同	一九〇七年
十二	間紡機	九十六錘	二	同「ドブソン」社	一八九三年
十三	同	百十二錘	一	同「ハワードバロー」社	一八九六年
十四	同	九十四錘	一	同「プラットブロザー」社	一八八八年
十五	同	百十二錘	六	同	一九〇七年
十六	練紡機	百四十四錘	二	同	同
十七	同	百五十六錘	三	同「ドブソン」社	一八九三年
十八	同	百五十四錘	三	同「ハワードバロー」社	一八九六年
十九	同	百二十錘	一	同「プラットブローザー」社	一八八八年
二十	綿絲精紡機	三百八十四錘	二	同	一九〇七年
二十一	同	四百八十錘	二	同「ハワードバロー」社	一八九六年
二十二	總絲精紡機	三百四十四錘	六	同「ドブソン」社	一八九三年
二十三	同	三百六十四錘	四	同「ハワードバロー」社	一八九六年

二十四	同	三百八十四錘	一	同「プラットブロザー」社	一九〇七年
二十五	車軸	徑二吋二分ノ一乃至四吋四分ノ一	七六九呎	同「ビックバーグリーブス」社	同
二十六	滑車	徑三十三吋乃至十五吋	二〇四	同	同
二十七	帶皮	幅一吋二分ノ一乃至五吋二分ノ一	五、一三六呎	大阪製	—
二十八	腰管	徑二吋	一、一六七呎	同	—
二十九	篠管	紙製	一、八〇〇	—	—
三十	木管	木製	二五〇、〇〇〇本	大阪製	—

(タ)三號工場附屬煉瓦造三階水槽臺内

一	自働消火用「ポンプ」	「シリンダー」徑十八吋「ストローク」十二吋	一	英國「マザープラット」社	一九〇八年
二	「グリンネル、スプリンクラー」	三號工場全部ニ設置	五九三	同	同

(レ)附屬建物瓦葺煉瓦造平家鍛工室工場内

一	穿孔機	大小	二	大阪製	—
二	旋盤	十二呎 六呎	二	同	—
三	風車	徑十六呎	一	同	—
四	同轉砥石	徑一呎	一	同	—
五	定盤		一	同	—
六	「バイス」		五	同	—
七	蒸汽機	「シリンダー」徑五吋「ストローク」十吋二分ノ一	一	同	—
八	車軸	徑二吋四分ノ一	四五呎	同	—
九	滑車	徑三十六吋二分ノ一乃至七吋	五	—	—
一〇	帶皮	幅三吋乃至二吋	二三五呎	—	—

以上ノ内諸機械ハ運轉狀態ニ於ケル有形ノ儘

煙突、水槽臺及給水井戸

い	煉瓦造圓形煙突	高サ百二十尺 頂内徑五尺	二號工場附屬	一基
ろ	同八角形同	同 同	三號工場附屬	同
は	同水槽臺	高サ四十五尺 長三間 幅三間 九坪	二號工場附屬	同
に	同	高サ五十二尺 長サ四間半 幅三間 十三坪五合	三號工場附屬	同
ほ	給水井戸	深サ二十尺 内徑十二尺 三坪一合四勺	一二號工場附屬	一箇所
へ	同	深サ二十尺 内徑十二尺 三坪一合四勺	三號工場附屬	同

輕便軌道

位置	名稱	間數
堤防ヨリ一號工場	十八封度付	百十一間
汽罐室前ヘ至ル	十三封度付	五十三間五分
「ポイント」ヨリ貯炭場ヘ至ル	十八封度付	三十三間
「ドロンテーブル」ヨリ混綿室ヘ至ル	同上	三十間
新倉庫前	「ドロンテーブル」	一箇
合宿所横手	「ポイント」	一箇所

門及柵

名稱	長	摘要
木柵	二十間三分	高サ一尺五寸乃至二尺ノ小叩ノ石垣アリ
鐵柵	八間五分	同
木柵	百八十一間	高サ一尺五寸乃至三尺ノ割石積ノ石垣アリ
同	五十六間	
表門	一箇所	
裏門	同	

工業所有權ノ部

種類	登錄番號	登錄年月日
塔象印	第一四一九四號	明治三十三年三月二十八日
犬印	第一四一九五號	同
星印	第二六五七六號	明治三十九年七月九日
門印	第三三五八五號	明治四十一年八月十九日

綿布製造營業用ニ用フ

○檢定教科用圖書

師範學校習字科用

師範學校新習字　豫科共　全四冊　定價各金二十五錢

明治四十三年三月十二日訂正再版發行

著作者　習字研究會
揮毫者　兵庫縣平民　玉木本三郎
發行者　東京府東京市神田區美土代町二丁目一番地東京府平民　小林竹雄

中學校歷史科用

中等西洋史　全一冊　定價金七十錢

明治四十三年三月十四日訂正再版發行

著作者　福井縣士族　滋賀貞　發行者　東京府東京市日本橋區本町三丁目十七番地　金港堂書籍株式會社

右孰モ明治四十三年三月二十三日檢定ス

明治四十三年三月　文部省

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十三年三月　郵便貯金局

記番號		交付局所名		預ケ人氏名
てにゐ	二三三六	筑前	熊田	伊藤 治六
てし	二六九五	同	黑崎	宮本 周藏
ふち	八四六二ノ二	元下關郵便爲替貯金管理支所		深田 重三郎
なろゆ	一一	豐後	鶴川	手島 嚴夫
なろし	二五一	同	中山香	安部 ヨシノ
のいめ	四四二一	周防	平生	岡本 吉兵衛
そわ	七八五〇	肥前	伊万里	山口 勇八
そろい	二八七六	同	田代	松本 スギ
そちあ	二一三六	同	木山口	坂口 榮
そちの	三二九六	同	筋原	原崎 熊一
ふいぬ	一九二二	出雲	赤名	横田 松市
ふいす	一四五四ノ二	元下關郵便爲替貯金管理支所		菅原 コヨシ
てり	四四三五	筑前	赤間	木下 尚雄
浦を	二三三一	滿洲	奉天	濱口 りツ
くいと	一五一三	備後	山南	貝田 龜一
くろま	二三六〇	安藝	戶河內	齋藤 シゲ
同	二七一七	同		齋藤 イサノ
そいあ	八七六	壹岐	印通寺	赤木 布志
そほゐ	四九四一	肥前	長崎新大工町	川口 要哲
まにす	一八四	大隅	永田	柴 七藏
まよゆ	四六	日向	日平	高下 高太郎
くは	一九一七三	備後	尾道	村上 正一
くれ	二八一	同	西城	佐藤 トヨ
くに	一三〇	同	垣內	五丹 新吉
同	一八〇	同		五丹 淺市
そいせ	九七一	肥前	富江	川瀨 彌三郎
そにわ	一二三二	同	茂木	横山 龜市
そにせ	一九〇	對馬	大船越	井手上 恒八
まく	二一四	薩摩	大口	榊 政吉（網代）
まじく	五二七	同	伊集院	松元 源次郎
まよゐ	五一二三	日向	上町	日高 キテ
ひにり	五八四五	肥後	熊本坪井	堀切 正樹
まに	一三三四	日向	宮崎	小林 芳太郎
いゐま	一五	武藏	日本橋箱崎町	岩田 むら
いほす	四四七	同	本鄉湯島新花町	山口 直信
いほか	三八五〇	同	芝田村町	田島 清正
いいけ	三六八五	同	小松川	上野 力造
いろお	八〇二四	同	本所吉田町	神田 不二夫
いろす	二九二一	同	淺草黑船町	若森 利四雄
いろら	七六三	同	下谷南稻荷町	尾形 勇吉
いはる	二一五五	同	神田西紅梅町	高野 志ずか
いろす	三七〇〇	同	赤坂青山北町	龜岡 梅子
むろさ	六一四	信濃	金澤	野口 増喜
むろゆ	九七〇二	同	岡谷	前田 松治郎
むわ	六二〇一	同	松代	丸山 隆美
むち	三九三七	同	中野	井原 宇作
むには	一八三	同	戶倉	田中 米吉
むろめ	一四八二	同	阿島	三石 得次
むいぬ	七六四	同	浦里	堀部 嘉門治
むほに	九三〇	同	長瀨	久保田 量平
むはに	三七八	同	南小谷	平川 岩松
わろぬ	二六八四	三河	苅谷	深谷 暢
わいゐ	二八〇八	同	龜岡	稻吉 喜八
むにす	二一四	信濃	山邊	倉科 敏馬
わいゐ	二八〇一	三河	福岡	伊奈 安次郎
同	一六八〇	同		伏野 次吉
同	一四一三	同		太田 福一
ゐい	一五八九一	美濃	岐阜	上田 美代造
ゐいは	六〇七	陸中	薄衣	小野寺 菊太郎
ゐはい	一〇二六	同	宮古新町	中村 イソ
ゑにね	八一四	越後	曾地	佐藤 己之助
ゑと	一二八九	同	長岡	榊澤 音松
ゑいそ	一三〇九	同	內野	若杉 辰也
ゑち	七八九二ノ二	元郵便爲替貯金管理所		中澤 ヌイ
あいや	三〇〇	陸奧	車力	工藤 金五郎

第8022号　本文

○入札拂下

明治四十三年三月二十四日　東京砲兵工廠

○入札拂下

明治四十三年三月二十四日　神戸郵便局

○入札拂下

明治四十三年三月二十四日　東京郵便局

○入札拂下

明治四十三年三月二十四日　呉海軍工廠會計部

○入札拂下

明治四十三年三月二十四日　陸軍兵器本廠

○購買入札

明治四十三年三月　福島縣

○兎狀亡失

明治四十三年三月　長野縣　群馬縣

○町役場位置變更

明治四十三年三月　群馬縣

○株主總會

明治四十三年三月二十四日　東京株式取引所

○株主總會

明治四十三年三月二十四日　青森大林區署

○株主總會

明治四十三年三月二十四日　東京大林區署

○株式賣拂不許可

明治四十三年三月二十四日　青森大林區署

○株式賣拂公告中止

明治四十三年三月二十四日　東京大林區署

第8022号　本文

第 8022 号 本文

○債券償還當籤

本行發行債券左記記番號ノ分當籤ニ付キ來ル四月一日ヨリ本行及各地代理店ニ於テ債券引換ニ元利金ヲ支拂フヘシ

明治四十三年三月二十四日

東京市麴町區錢瓶町一番地
株式會社日本興業銀行

戊號

千圓券

	一、一〇〇	一、七八五	二、四〇九	
一八六	一、一一五	一、七九四	二、四六三	
五六七	一、一三一	一、九四七	二、六〇一	
五八二	一、一三八	二、〇五三	二、六六二	
五九二	一、二一六	二、〇五七	二、七一九	
七六七	一、二二八	二、一一八		
九二七	一、三七八	二、二五二		
一、〇三三	一、五〇四	二、四〇五		

百圓券

自三三一 至三四〇
自一、二七一 至一、二八〇

[illegible]號

千圓券

	二七一	六九九	八三五	一、三一五	一、四二七	一、七二八	一、九二五	二、二七八
六五	三二四	七〇三	八八〇	一、三三一	一、四八一	一、七七六	一、九四九	二、二八七
六七	四四一	七一〇	九八〇	一、二四〇	一、四八三	一、七九八	一、九七三	二、三七五
七七	四五六	七二二	一、〇六四	一、二四六	一、四九五	一、八二〇	一、九八七	二、三九九
一三九	四八五	七二九	一、一二三	一、二六〇	一、五一九	一、八二八	二、一〇七	二、四〇一
一五四	六三二	七二六	一、一八三	一、三四〇	一、五四五	一、八四八	二、一一一	二、四四四
一六四	六八八	七四一	一、一九二	一、三七〇	一、五七〇	一、八五二	二、一五六	
二六四	六九一	八一七	一、二〇三	一、四一三	一、六三三	一、九一九	二、一九一	

百圓券

自一三一 至一四〇

○東京郵便局外國郵便締切時限

明二十五日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ペンザ」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常（普通	二十五日午後七時半	二十五日午後五時
通常（書留	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
聯合爲替	同日午後四時	同日正午十二時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

本月二十八日長崎マテ汽車便送同地ヨリ「クラヰスト」號ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常（普通	二十七日午前十時	二十七日午後十時
通常（書留	同上	同上
價格表記	同上	同上
小包（香港	同日午後七時	同日午後五時
小包（萬國	二十五日午後八時半	二十五日午後六時
香港爲替	二十七日正午十二時	二十六日午後四時

（備考）萬國小包ハ埃及、歐洲及北米合衆國等宛トス

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ鳳山丸ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常（普通	二十八日午後七時半	二十八日午後五時
通常（書留	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
爲替（聯合	同日午後四時	同日正午十二時
爲替（特別	二十六日正午十二時	二十六日正午十二時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一ポートランド經由歐米諸國宛　二十八日頃締切ノ筈
一布哇經由同　三十日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週月、水、金曜日ニ上海香港竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行
宮崎丸（新船） 本月三十日正午十二時橫濱出帆四月二日午前十一時神戶出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

米國行
阿波丸 四月八日正午十二時神戶出帆同十三日午後二時橫濱出帆ビクトリア、シアトル行

濠洲行
八幡丸 四月二日正午十二時橫濱出帆同五日午前十時神戶出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

上海行
筑前丸 明後二十六日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行
弘濟丸 本月二十七日午前十時橫濱出帆同二十九日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行
春日丸 同三十一日午前十時橫濱出帆四月二日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行
因幡丸 四月四日午前十時橫濱出帆同八日午前十時神戶出帆門司、長崎、上海行

韓國、北淸方面行
酒田丸 本月三十日正午十二時橫濱出帆四日市、神戶、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
淡路丸 同三十一日午前十時神戶出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行
相模丸 四月七日午前十時神戶出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行
山東丸 同十八日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行

臺灣行
信濃丸 神戶發正午十二時（每月三日、十八日） 門司發午後四時（四日、十九日） 基隆著（七日、二十二日）
讚岐丸 神戶發正午十二時（每月十一日、二十六日） 門司發午後四時（十二日、二十七日） 基隆著（十五日、三十日）

浦潮斯德行
立神丸 本月二十七日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、元山、淸津、浦潮斯德行

本州、北海道連絡線
毎日（午後七時半 青森發 翌朝七時半 室蘭著
毎日（午後五時 室蘭發 翌朝五時 青森著

○大阪商船株式會社汽船出發表

韓國行
咸鏡丸 明後二十六日午前八時大阪出帆同日正午十二時神戶出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、淸津行
木浦丸 同日午前八時大阪出帆同午後一時神戶出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行

淸國行
大信丸 明二十五日午前十時神戶出帆門司、天津行
嘉義丸 同日午前十時神戶出帆翌二十六日午後一時門司出帆大連行
開城丸 本月二十七日午後四時神戶出帆翌二十八日午後四時宇品出帆門司、大連行
鐵嶺丸 同三十一日正午十二時大阪出帆四月一日午前十時神戶出帆門司、大連行
大智丸 四月二日正午十二時大阪出帆翌三日午前十時神戶出帆門司、天津行
天草丸 同三日正午大阪出帆翌日午前十時神戶出帆門司、大連行
（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ橫付ス）

米國行
しあとる丸 明二十五日午前橫濱出帆神戶、門司、マニラ、香港行
たこま丸 四月五日午前橫濱出帆タコマ行

臺灣行
福岡丸 明二十五日正午十二時橫濱出帆本月二十八日午前八時神戶出帆門司、基隆、安平、打狗行
臺中丸 四月一日午後三時橫濱出帆同四日正午十二時神戶出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
さくら丸 每月一日、十五日午後二時神戶出帆門司、基隆行
臺南丸 每月八日、二十四日正午十二時神戶出帆門司、基隆行

浦潮斯德行
鳳山丸 本月二十九日午後五時敦賀出帆同三十一日浦潮斯德著
金曜日午後二時浦潮斯德發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○號外 昨二十三日發刊 第二十六回帝國議會 貴族院議事速記錄第十八號三十二頁 ◎同衆議院議事速記錄第二十六號十六頁
○附錄 今二十四日發刊廣告八頁

物価号外

官報 號外

明治四十三年三月二十四日 木曜日 印刷局

○帝國議會

○本日帝國議會閉會式勅語左ノ如シ

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

官報號外 明治四十三年三月二十四日（明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可）

第 8022 号 物価号外

官報第八千二十二號附錄

明治四十三年三月二十四日

○廣告

○商業登記

東京砂利鐵道株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金三十七圓五十錢ト變更ス
日本橋區第五十號商號柳屋登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月一日營業ノ種類ヲ左ノ如ク變更ス
鰹節、乾海苔商
日本橋區第四十二號商號柳屋登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月一日營業ノ種類ヲ左ノ如ク變更ス
鰹節、乾海苔商
日本橋區第四十號商號柳屋登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月一日營業ノ種類ヲ左ノ如ク變更ス
鰹節、乾海苔商
株式會社龜崎銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一左者ハ明治四十三年二月六日取締役ニ就任ス
愛知縣知多郡龜崎町大字乙川七百八十一番戸　雄木三代太郎
名古屋市西區下園町三丁目五番地　安東　敏之
同市南區熱田木ノ免町百三十四番地　磯貝　浩
合資會社池貝鐵工所登記事項中左ノ如ク變更ス
一社員池貝庄太郎ハ明治四十三年二月五日其出資額ヲ左ノ如ク變更シ千葉直五郎、今井三吉ハ同日入社ス
金十一万八千圓　池貝庄太郎
金二万五千圓　有限　東京市京橋區銀座一丁目四番地　千葉直五郎
金七千圓　同　同市芝區三田四國町二十番地　今井　三吉
東洋製革株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者ハ明治四十三年一月二十七日重任ス
東京市淺草區山ノ宿町川岸五十三番地　山崎　和七
大阪市南區桃谷町三十九番屋敷　高山　圭三
東京市芝區商號登記簿第二冊第七三號ヘ
一商號　青柳
一營業ノ種類　和洋菓子製造販賣
一營業所　東京市芝區西久保明舟町十七番地
一商號使用者ノ氏名住所　東京市芝區西久保明舟町十七番地　青柳　敏雄
有隣生命保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役ニ左者ハ明治四十三年二月十三日就任ス
愛知縣尾張國知多郡龜崎町大字龜崎七百九番戸　井口半兵衛
一監査役ニ左者ハ同日就任ス
名古屋市南區熱田木ノ免町百三十四番戸　磯貝　浩
日本化學工業株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一左者ハ明治四十三年二月五日取締役ニ就任ス
福島縣河沼郡日橋村大字八田甲一番地　八田　吉多
東京市芝區高輪南町三十番地　棚橋寅五郎
一監査役八田吉多棚橋寅五郎ハ同日辭任シ友田嘉兵衛、木村庫之助、鈴木宗兵衛ハ同日監査役ニ就任ス
横濱市野毛町三丁目十二番地　友田嘉兵衛
同市辨天通二丁目三十二番地　木村庫之助
東京市日本橋區元大工町四番地　鈴木宗兵衛
右明治四十三年二月十八日登記
東京區裁判所

商業登記變更
株式會社横須賀銀行登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十三年一月三十日臨時株主總會ニ於テ取締役三名補缺選擧ノ結果左記ノ通當選就任ス、大澤萬太郎補缺員濱名郡天王村原島百五十三番地ノ一渡邊庄一郎、富田庄吉補缺員同郡同村下石田八十七番地渡邊與十郎、土屋太郎吉補缺員周智郡森町森二百八十二番地成櫛信次郎
一明治四十三年一月三十日臨時株主總會ニ於テ監査役任期明治四十三年二月十日滿了ニ付改選ノ結果左記ノ者當選就任ス、小笠郡掛川町下俣三十一番地平尾要作、濱名郡濱松町紺屋三十七番地內田政治同郡入野村入野二百三番地水野喜三郎、周智郡森町天宮千百十六番地瀧下重三郎
右明治四十三年二月十四日登記ス
掛川區裁判所大須賀出張所
合名會社內田商店ハ明治四十三年二月十六日總社員ノ同意ヲ得テ解散ス
右明治四十三年二月十八日登記
甲府區裁判所明穗出張所
株式會社登記簿第三號
株式會社上伊那銀行登記中明治四十三年二月一日取締役會ノ決議ニ因リ辰野支店ヲ左ノ場所ニ移轉變更ス
長野縣上伊那郡伊那宮村大字辰野字大島張千六百十五番地イ號八
右明治四十三年二月九日登記
株式會社登記簿第一號
富田倉庫株式會社登記事項中明治四十三年一月三十一日臨時株主總會ニ於テ監査役改選ヲ行ヒ左ノ通變更ス
長野縣上伊那郡宮田村二十八番地　新井　久吉
同縣同郡同村三千二百九十二番地　代田　角治
同縣同郡同村乙百九番地　平澤　助造
右明治四十三年二月十四日登記
伊那區裁判所
支配人登記簿第十三號
一支配人ノ氏名住所　南佐久郡野澤町百七十九番地　木村周三郎
一主人ノ氏名住所　南佐久郡臼田町大字臼田百二十四番地　合資會社千曲銀行
一主人ノ營業　銀行業
一支配人ヲ置キタル場所　南佐久郡臼田町大字臼田百二十四番地
右明治四十三年二月十六日
岩村田區裁判所臼田出張所
合資會社堀富商店登記事項ニ左ノ如ク登記ス
一解散ノ事由及年月日　明治四十三年二月十四日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
新潟藁產業株式會社登記事項中監査役佐藤清四郎ハ其住所ヲ左ノ地ニ移轉變更ス
新潟市船場町一丁目二千四百三十七番地
明治四十三年二月十七日登記
新潟區裁判所
株式會社變更登記
株式會社嵯峨銀行取締役小林吉明同穗積和吉ハ滿期重任
右明治四十三年二月十四日登記
京都區裁判所太秦出張所
福知山煙草合名會社河守支店登記事項中變更
社員臨時總會ノ決議ニ依リ綾部支店ヲ京都府何鹿郡綾部町字綾部二十二番地ニ移轉
右明治四十三年二月十七日登記
福知山區裁判所河守出張所
一株式會社大阪堂島米穀取引所　監査役祇園清次郎磯野良吉須々木庄平滿期重任
一大日本冷藏株式會社　監査役藤田茂藤野正年石井鈞三郎滿期重任　大阪市東區北濱二丁目井上德三郎取締役ニ就任

第8022号付録

第8022号　付録

○法人登記

○産業組合登記

第8022号　付録

第8022号　付録

第8022号　付録